

まちだの子ども施策

2011（平成23）年度

町田市子ども生活部

「まちだの子ども施策 2011 年度」について

- 本書は、町田市の子どもの状況や子ども施策の概要をまとめたものです。
- 本書は、「町田市子どもマスタープラン」（2005 年度からの 10 年計画）の進捗状況を報告するものです。
- 本書は、「次世代育成支援対策推進法」に基づく「町田市次世代育成支援対策推進行動計画」の措置の実施状況を報告するものです。
- 子ども施策に基づく事業は、主に 2011 年度実施されたものを掲載しています。
- 保育所の入所者数等のデータは、主に 2012 年 4 月 1 日現在のものを掲載しています。

目 次

1. 2011年度 子ども生活部長の仕事目標	1
(1) 部の使命	1
(2) 部の成果指標	1
(3) 部の現状	1
(4) 部の経営課題【中・長期目標】	2
2. 町田市の概要	3
(1) 町田市の位置	3
(2) 町田市の人口	4
(3) 町田市の子どもの人口と出生数	6
(4) 就学前児童の状況	8
3. 町田市の子ども施策の体系	9
(1) 町田市中期経営計画 重点プラン（抜粋）	9
戦略目標3 子育て・保健福祉のまちの創造	9
重点施策3-1 保育所の入所待機児童を解消する	9
重点施策3-2 子育て家族を支える	11
重点施策3-3 多様な体験ができる機会を充実する	13
(2) 町田市基本構想・基本計画（抜粋）	15
(3) 町田市子どもマスタープラン	16
(4) 町田市子どもマスタープランの基本理念・基本的視点・基本目標	17
(5) 町田市子どもマスタープランの施策体系	19
4. 子どもマスタープランに基づく各施策の取り組み	20
・基本目標Ⅰ 子どもが健やかに育ち、一人ひとり自分の中に光るものを持っている	21
・重点目標1 子どもの遊びや体験が大切にされ、主体的に参加し意見表明できる	21
・個別目標1 コミュニケーション能力を育てる	21
・個別目標2 参加と意見表明の場や機会をつくる	23
・個別目標3 救済とやり直しの場や機会を保障する	24
・重点目標2 大人になっていく力がつくようにする（市民性の形成を育む）	24
・個別目標1 乳幼児期の養護を充実させる	24
・個別目標2 幼児教育を充実させる	25
・個別目標3 学校教育を充実させる	25
・個別目標4 思春期の子どもの心と身体健康教育を充実する	27
・個別目標5 体験活動から学ぶようにする（文化・スポーツ活動等）	28
・基本目標Ⅱ 子どもが安らいでいる家族があり、家族が地域とつながっている	32
・重点目標1 親になる力を身につける	32
・個別目標1 親スタート期を支える	32
・個別目標2 子育て期を支える	33

・個別目標3	男女共同の子育てを進める	37
・個別目標4	親の悩みを支える	37
・重点目標2	親が働くことを支える	39
・個別目標1	保育支援	40
・個別目標2	サービスの質の向上と効果的・効率的な提供の充実	43
・重点目標3	きめ細やかな支援が必要な家族を支える	43
・個別目標1	障がいのある子どもと家族への支援	43
・個別目標2	ひとり親家庭への支援	46
・個別目標3	外国籍家族への支援	47
・個別目標4	被虐待児（DV 家族児童を含む）と家族への支援	47
・基本目標Ⅲ	子どもが地域の中で大切にされている	48
・重点目標1	人と人が関わりつなげる場をつくる（家庭・施設・学校・地域・行政の協働）	48
・個別目標1	地域の人材育成と人材活用	48
・個別目標2	地元事業所・商店の関わり	49
・個別目標3	体験できる場（多様な体験ができる機会を増やす）	49
・個別目標4	交流できる場（子どもや子育てをしている人がふれあい情報交換できる場を増やす）	52
・個別目標5	子どもセンター・地域子育てセンターを中心とした地域づくり	53
・重点目標2	一人ひとりに情報が確実に届く	54
・個別目標1	子どもと親への情報を確保する	54
・重点目標3	みんなで安全・安心のまちをつくる	55
・個別目標1	子どもの安全・安心を確保する	55
・個別目標2	子育てしやすいまちづくりをする	56

5. 特定 12 事業における実績と目標事業量 57

6. 町田市の組織 68

巻末資料

- (1) 認可保育所／幼稚園／認定こども園／認証保育所／家庭的保育者／委託保育室 位置図
- (2) 学童保育クラブ／子どもセンター／子どもクラブ 位置図

1. 2011年度 子ども生活部長の仕事目標

子ども生活部長 鈴木 信行

（1）部の使命

- 子どもが豊かな心と健やかな体をはぐくむ取り組みを推進します。また、子育て期に、やりがいや充実感を持ちながら働き、子育て、家庭・地域生活を楽しむことができる「ワーク・ライフ・バランス」の実現に向けた取り組みの推進や、安心して、楽しく子育てができるまちづくりを進めます。

（2）部の成果指標

- 保育サービスの充足率
- 子育て相談機能拡充計画の進捗率
- 子ども関連施設の利用人数

（3）部の現状

【顧客の視点】

- 保育所入所待機児童解消のため、引き続き町田市独自の「20年間期間限定認可保育所」事業を推進していますが、2011年4月の待機児童数は429人で、2010年より33人増加しました。
- 学童保育クラブの入会児童数は2011年4月1日現在2,921人で、児童数が71人を超える大規模施設が3箇所、遠距離や老朽化した施設があり、計画的な改善が望まれています。
- 発達に遅れのある子どもの早期発見・早期療育のため子ども発達センターは、利用申し込みが増加しています。

【資源の視点】

- 子ども手当の支給や税制改正など社会状況に対応した保育所保育料の現行基準の見直しが出てきていません。
- 保育所・学童保育クラブ等の運営に年間約70億円の経費を要し、中長期的に見て膨大な財政負担が見込まれています。
- 青少年の健全育成を図るため、団体や地域の協力者等と、積極的に協働事業を行っています。

【比較の視点】

- 「20年間期間限定認可保育所」事業により、速効性をもって保育所の整備を進めています。
- 認定こども園の量的拡充や幼稚園での預かり保育の拡充により、待機児童解消を図っています。
- 学童保育クラブが入会希望者を全て受け入れている結果として、施設が大規模化し保育環境の改善を求められています。

【 環境変化の視点 】

- 子ども手当や税制改正等が及ぼす、家庭や保育サービスへの影響は不透明です。
- 子育てに不安や孤立感を抱える養育者への対応件数は増加しています。不適切な養育、虐待事例に対する適切な判断が求められています。
- 子どもが身近で安心して自由に遊べる場が少なくなっています。放課後等の子どもたちの居場所が求められています。
- 発達に遅れのある子どもは成長段階や個々の障がいによって、対応が異なります。障がいに即したきめ細かな相談対応や支援が求められています。

（４）部の経営課題【 中・長期目標 】

	部の経営課題	指標	現状値	目標値	達成時期
1	保育所待機児童解消と多様な保育ニーズへの対応	保育所待機児童数	435 人	0 人	2012 年 4 月
2	子育てに関する相談機能の充実と乳幼児の発達支援	計画の進捗状況	30%	100%	2014 年度
3	青少年の体験活動や育成者の支援と青少年施設のあり方を検討	子どもセンター数	3 施設	5 施設	2015 年度
4	選択と集中による「今すべきこと」の重点的な実施	部内職員の平均稼働時間	2100 時間/年	2000 時間/年	2013 年度

（注）「部長の仕事目標」は、2006 年度よりスタートした制度です。町田市公式ホームページの「トップページ」→「市の取り組み」→「部長の仕事目標」からもご覧いただくことができます。

<http://www.city.machida.tokyo.jp/shisei/buchomani/setsumei.html>

2. 町田市の概要

	内 容
市 制 施 行	1958年2月1日東京都で9番目に市制施行。
位 置 ・ 地 勢	東京都の南端にあって、半島のように神奈川県に突き出しています。市のほぼ全域が多摩丘陵に含まれ、市域の平面形は丘陵の西南線に沿う狭長な形態になっています。地質は、主として表面5m～15mの関東ローム層におおわれています。
広 ぼ う	東西 22.3 km 南北 13.2 km
海 抜	最高 364 m 最低 27 m
面 積	71.64 km ²
世 帯 数	185,258 世帯 (2012年1月1日現在)
人 口	425,380 人 (2012年1月1日現在)
人 口 密 度	5,938 人 / km ² (2012年1月1日現在)

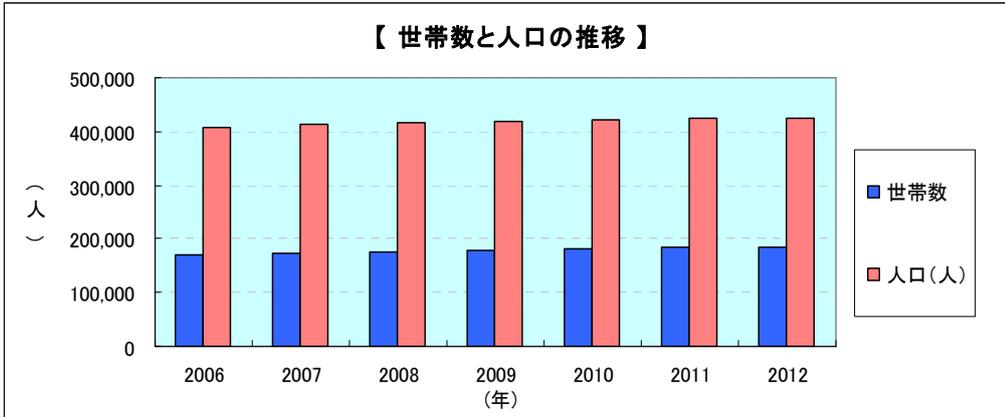
*世帯数・人口・人口密度には外国人を含みます。

(1) 町田市の位置



(2) 町田市の人口

人口と世帯数の推移（各年1月1日現在 外国人を含む）（単位：人）

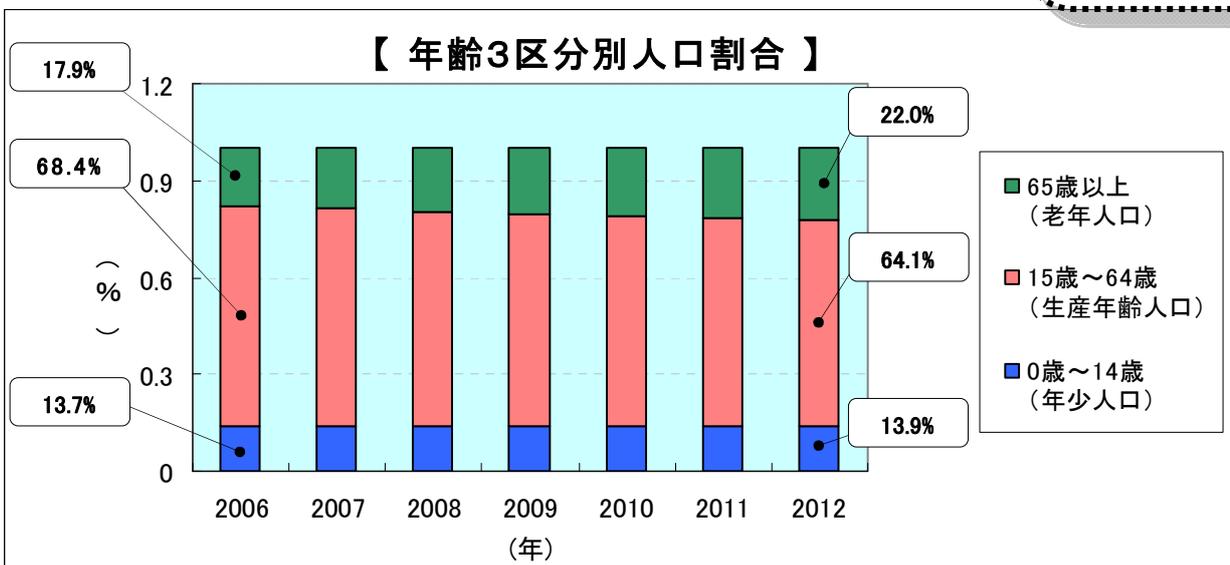


資料：町田市の世帯と人口

町田市の人口は、市制施行以来増加しています。1958（昭和33）年の市制施行時の人口は、約6万1千人でしたが、2012年には42万5千人を超え、市制施行時の約7倍になっています。

区分 年度	世帯数	人 口		
		総数	男	女
2006	169,364	409,017	202,328	206,689
2007	173,085	413,176	204,379	208,797
2008	176,197	416,693	205,896	210,797
2009	179,290	419,816	207,434	212,382
2010	181,847	422,700	208,737	213,963
2011	183,836	424,828	209,509	215,319
2012	185,258	425,380	209,547	215,833

町田市の年齢3区分別人口割合では、65歳以上の高齢者の占める割合が年々増加しています。0歳～14歳の年少人口は、微増を続けていますが、15歳～64歳の生産年齢人口は減少しています。

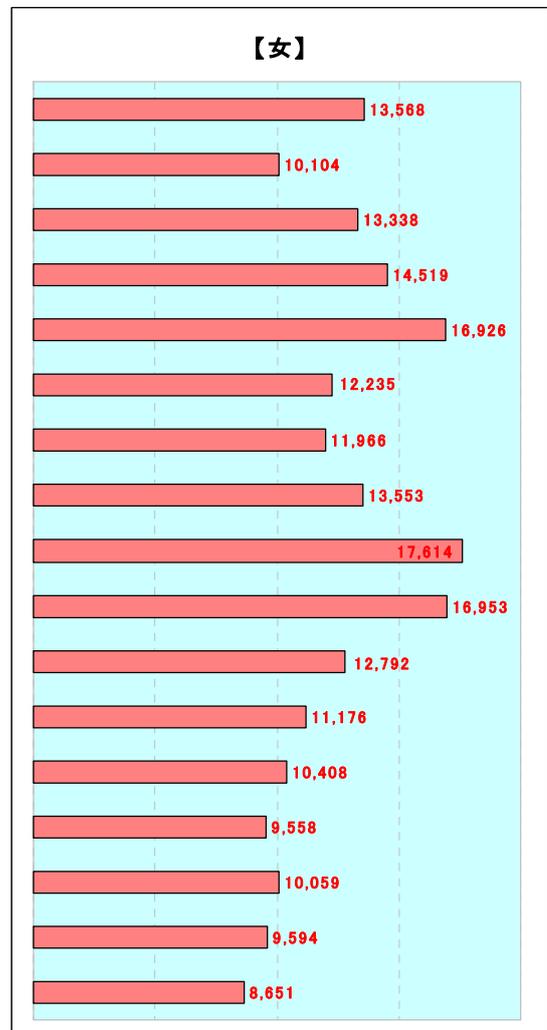
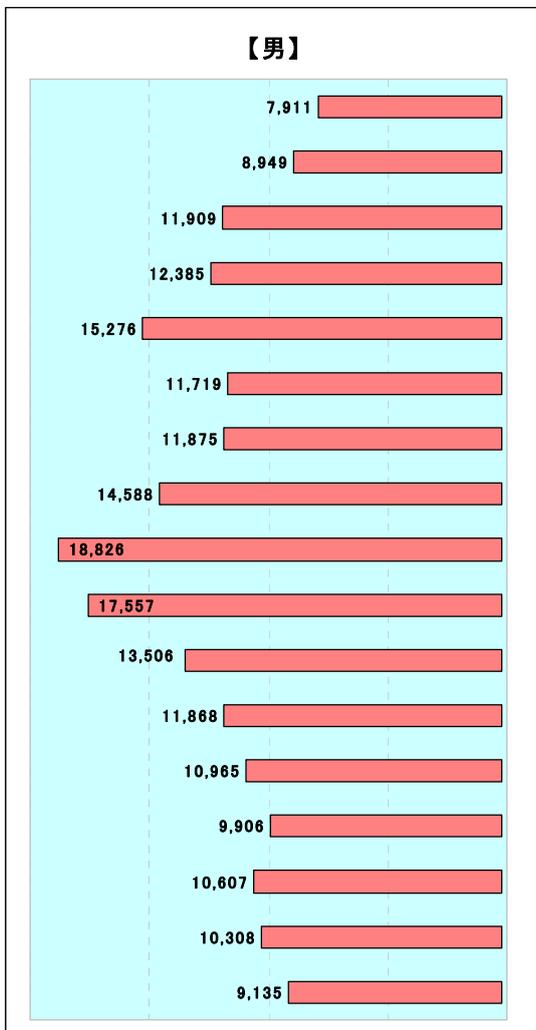


資料：町田市の世帯と人口

【年齢階級別人口】(2012年1月1日現在 外国人を含まず)

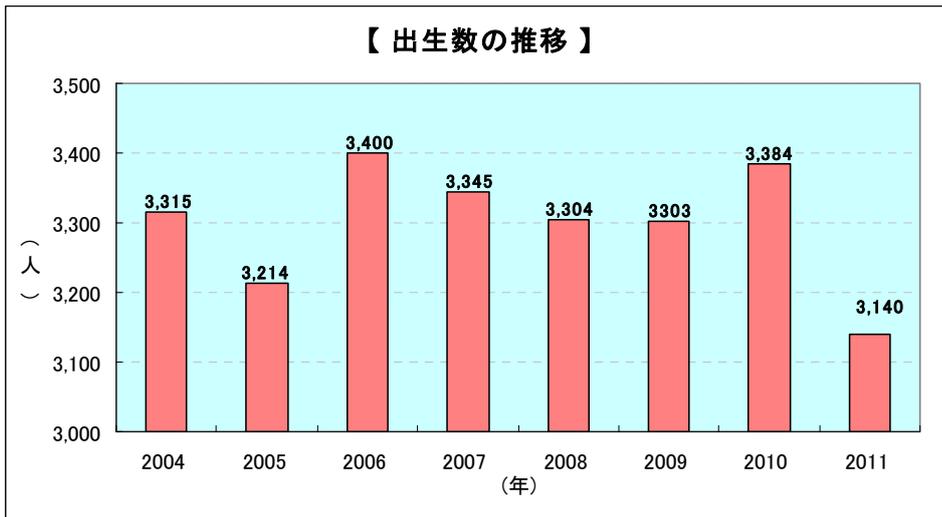
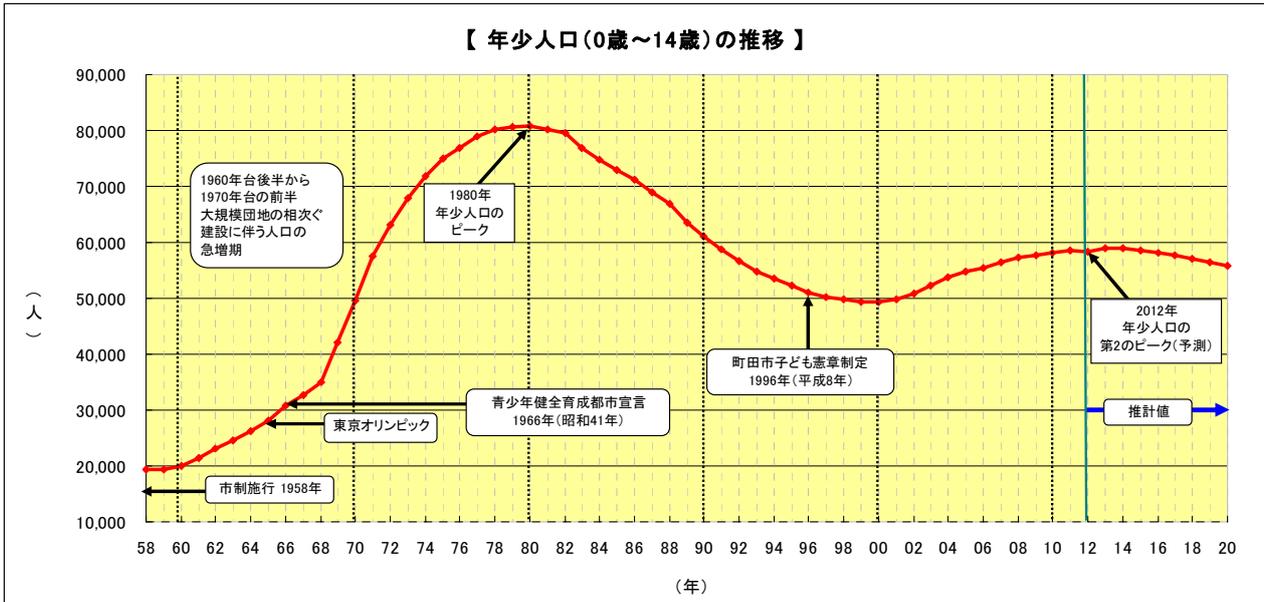
(単位：人)

年齢区分	総数	男	女	年齢区分	総数	男	女
0歳～4歳	17,786	9,135	8,651	45歳～49歳	28,141	14,588	13,553
5歳～9歳	19,902	10,308	9,594	50歳～54歳	23,841	11,875	11,966
10歳～14歳	20,666	10,607	10,059	55歳～59歳	23,954	11,719	12,235
15歳～19歳	19,464	9,906	9,558	60歳～64歳	32,202	15,276	16,926
20歳～24歳	21,373	10,965	10,408	65歳～69歳	26,904	12,385	14,519
25歳～29歳	23,044	11,868	11,176	70歳～74歳	25,247	11,909	13,338
30歳～34歳	26,298	13,506	12,792	75歳～79歳	19,053	8,949	10,104
35歳～39歳	34,510	17,557	16,953	80歳以上	21,479	7,911	13,568
40歳～44歳	36,440	18,826	17,614	総計	420,304	207,290	213,014

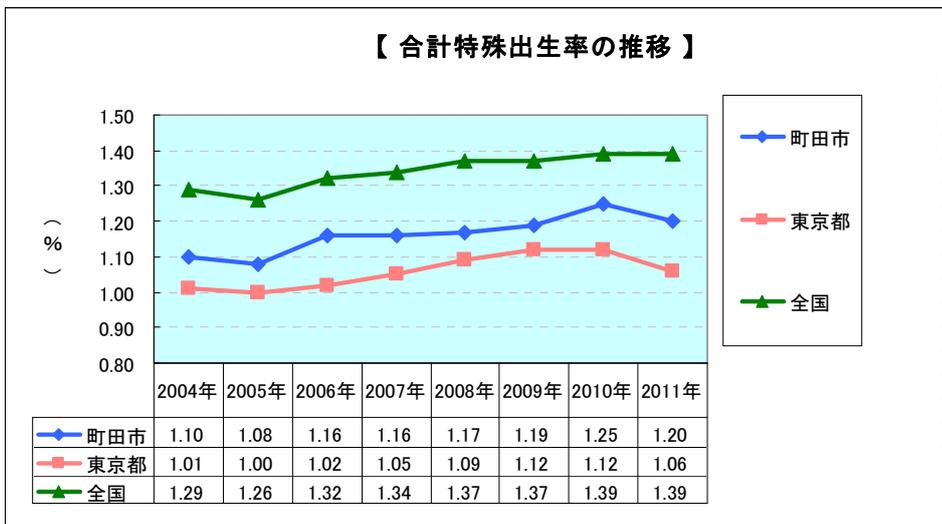


資料：町田市の家世と人口

(3) 町田市の子どもの人口と出生数



各年1月1日現在
(1958年~2012)



合計特殊出生率

15歳から49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、一人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生涯の間に生むとしたときの子ども数に相当する。

※注意点

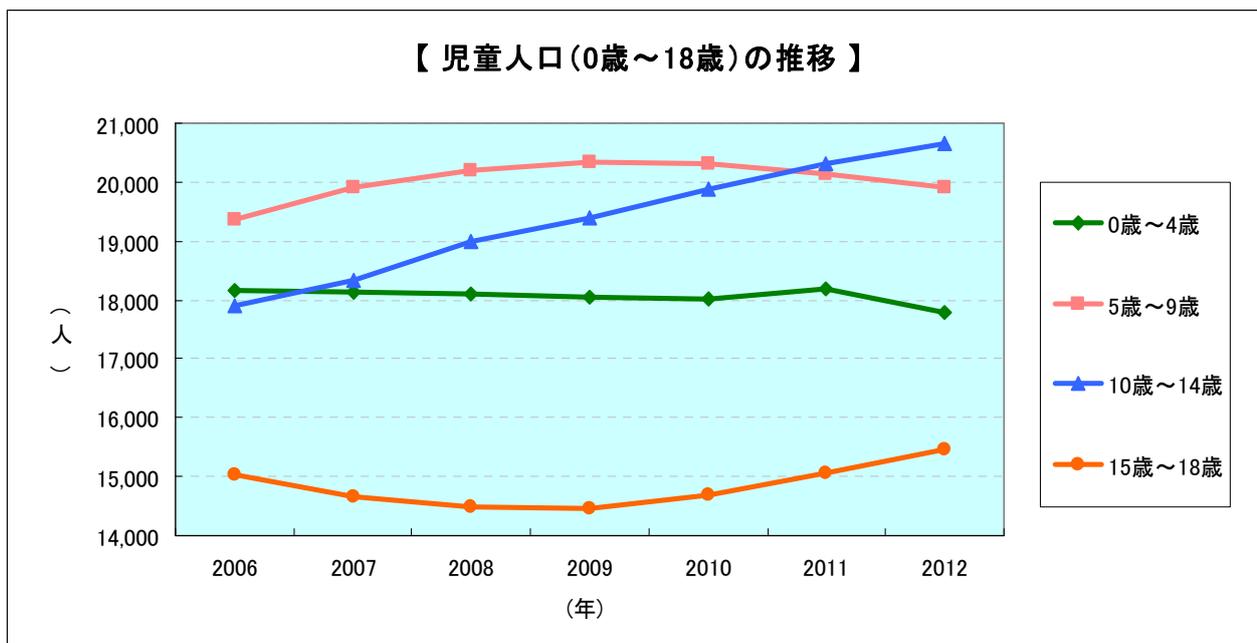
2011年の出生数および合計特殊出生率は、本書作成時において、速報値(概数)となるため、変わる可能性があります。

資料：東京都人口動態統計

【 児童人口（0歳～18歳）の推移 】（各年1月1日現在）

（単位：人）

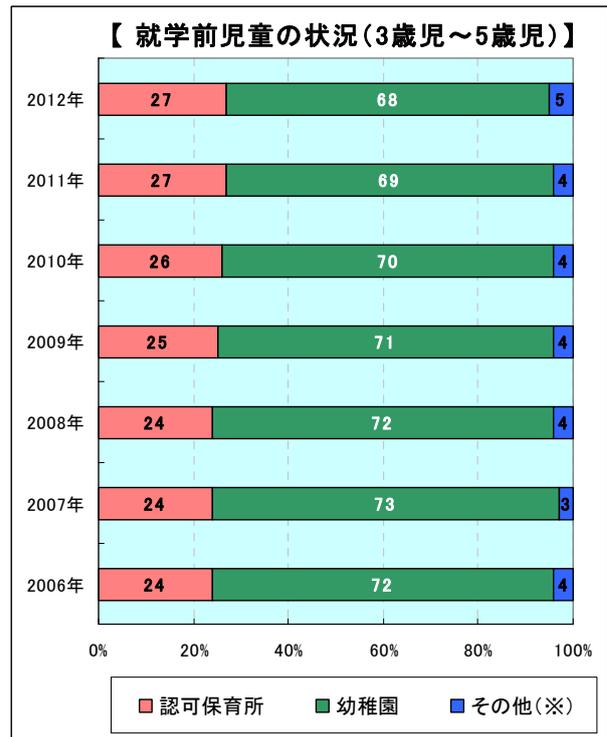
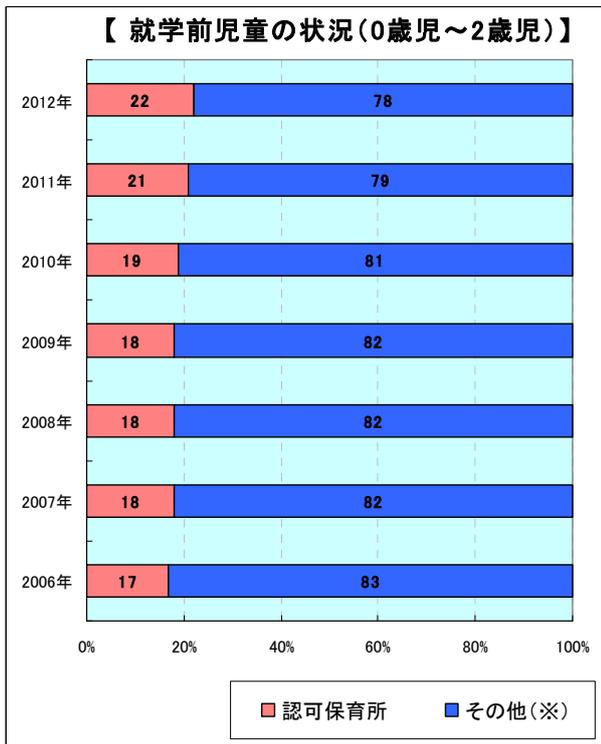
年齢 年度	0歳～4歳	5歳～9歳	10歳～14歳	15歳～18歳	合計
2006	18,164	19,353	17,896	15,027	70,440
2007	18,142	19,901	18,336	14,667	71,046
2008	18,103	20,195	18,979	14,493	71,770
2009	18,031	20,340	19,394	14,473	72,238
2010	18,014	20,309	19,890	14,693	72,906
2011	18,182	20,131	20,316	15,055	73,684
2012	17,786	19,902	20,666	15,450	73,804



児童人口（0歳～18歳）は、全体的には微増状況が続いています。また、特に10歳～14歳の児童人口は増加傾向にあり、15歳～18歳の児童人口も僅かながら、増加しています。しかし、一方で0歳～4歳と5歳～9歳の児童人口は、2011年の同時期と比較すると、減少しています。

(4) 就学前児童の状況

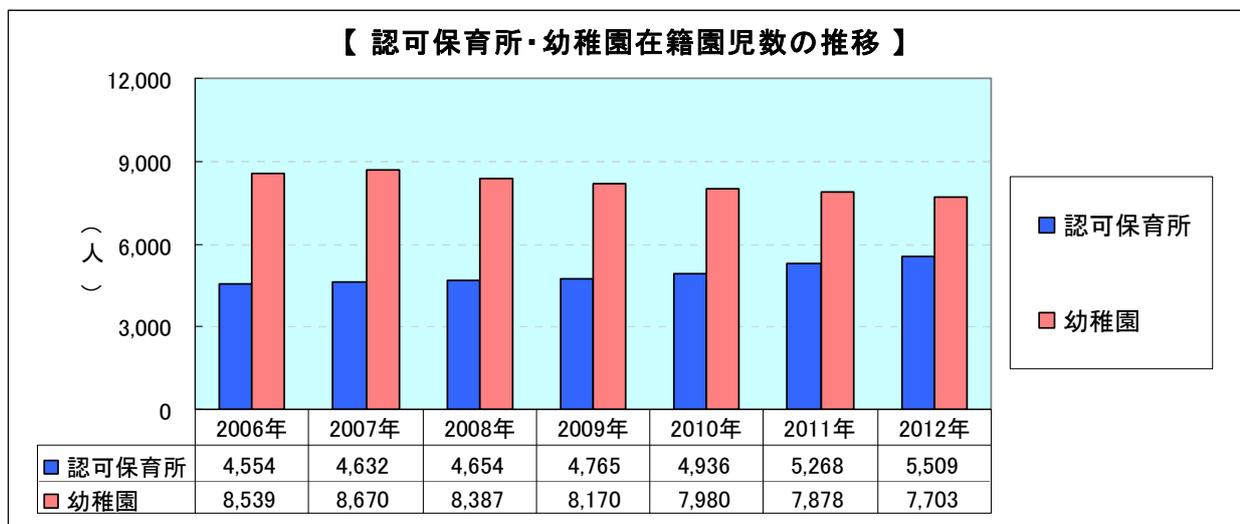
(単位：%)



資料：子ども生活部子育て支援課

※「その他」には、家庭で養育を受けている児童、認可保育所以外の保育サービス（家庭的保育者、認証保育所、保育室、認定こども園【認可外保育部分】）を受けている児童、無認可保育所へ通っている児童が含まれます。

0歳～2歳では、約22%の児童が、保育所で保育を受けています。3歳～5歳児になると、全体の約68%の児童が幼稚園に通園しています。なお、就労を希望する保護者が多いため、保育所で保育を受ける児童の数は年々増加傾向にあります。



保育所 各年4月1日現在 / 幼稚園 各年5月1日現在

3. 町田市の子ども施策の体系

(1) 町田市中期経営計画 重点プラン(抜粋)

町田市は、2006年に市政運営の基本理念として掲げた「市民すべてが希望の持てるまち」の実現に向けて、2007年からの5ヶ年計画である中期経営計画を軸に、市政運営を行ってきました。2011年度をもって、中期経営計画はひとつの区切りを迎えましたので、5年間の取り組み内容も合わせて、掲載しています。

戦略目標3 子育て・保健福祉のまちの創造

5年間の取り組みの成果として、20年間期間限定認可保育所の整備など保育所の入所定員を約1,000名増やしましたが、景気の低迷などによる共働き世帯の増加などが原因で、結果として待機児童の解消には至りませんでした。また、保育環境が悪化していた学童保育クラブについては、増築などの整備を行い、狭あい化を解消しました。

重点施策3-1 保育所の入所待機児童を解消する

～ 施策の取り組みの方向 ～

保育所や認可外保育施設などの定員を増員し、待機児童の解消を進めるとともに、様々な子育てのニーズに応じたサービスを提供できるよう、幼稚園や民間の保育所と協力して、サービスの一層の充実を図りました。

～ 成果指標 ～

成果指標	目標値	初期値 (計画策定時)	実績値 (計画終了時)
保育所待機児童数	0人	273人 (2007年4月)	293人 (2012年4月)

重点事業3-1-1 保育所整備

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化が進んだ市立保育所の建て替え整備を進めます。 ・私立保育所の新設、および建て替え整備に対する支援を行います。 				
5年間の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・民間保育所の新設1園、増改築2園、増築1園、分園1園の整備について補助を行いました。 ・20年間期間限定認可保育所整備事業について合計11園の補助を行いました。 ・市立大蔵保育園の増改築を行いました。 				
指標	保育所入所定員 <庁内資料>				
目標値	4,558人	初期値 (計画策定時)	4,291人 (2007年4月)	実績値 (計画終了時)	5,283人 (2012年3月末)

■重点事業3-1-2 認可外保育施設*1運営支援

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・認可外保育施設を新設、および運営する事業者に対する支援を行います。 ・認可外保育施設に児童を預ける家庭に対する経済的支援を行います。 				
5年間の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・認可外保育施設のうち市から運営費等の補助を受けている施設の利用保護者に対し保育料の一部を補助しました。 				
指標	認可外保育施設入所児童数 <庁内資料>				
目標値	296人	初期値 (計画策定時)	185人 (2007年4月)	実績値 (計画終了時)	366人 (2012年3月末)

*1 【認可外保育施設】 施設や保育内容など東京都の基準を満たした保育施設のことです。

■重点事業3-1-3 幼稚園児預かり事業

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・長時間の園児預かりサービスを行う幼稚園や、保育と教育の一体的なサービスを提供する保育所・幼稚園に対する支援を行います。 				
5年間の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・長時間の園児預かりサービスを行う幼稚園児預かり事業や、保育と教育の一体的なサービスを提供する認定こども園に対する支援を行いました。 				
指標	① 預かり保育実施幼稚園数（注）<庁内資料> ② 認定こども園数 <庁内資料>				
目標値	① 11園 ② 5園	初期値 (計画策定時)	① 6園 ② 0園	実績値 (計画終了時)	① 11園 ② 7園

(注) 町田市の補助基準を満たしている幼稚園数です。

重点施策3-2 子育て家族を支える

～ 施策の取り組みの方向 ～

子育て家族が安心して子育てができるよう、子育てに関する相談や、親同士が情報交換できる機会の提供のほか、学童保育クラブの整備を進めました。

また、虐待に対する対処や障がいを持つ児童の子育てには、専門的なアドバイスや支援機能をさらに充実しました。

～ 成果指標 ～

成果指標	目標値	初期値 (計画策定時)	実績値 (計画終了時)
児童虐待件数	↓	97件	142件

■重点事業3-2-1 子育て相談

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待や育児放棄の原因ともなる子育ての不安や負担を軽減するため、不安や疑問を気軽に相談できる機会や、専門的なアドバイスを受けられる機会を提供します。 ・子育て家族が気軽に集え、保育士や家族同士が交流、相談ができる機会を提供します。 ・児童虐待などの深刻な事態により迅速に対処するため、体制の強化に向けて、東京都に働きかけます。 				
5年間の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待や育児放棄の原因ともなる子育ての不安等を気軽に相談できるよう職員配置を見直しました。 ・子育て家庭が気軽に集え、保育士や家族同士が交流、相談ができる機会を提供する子育てひろば事業を実施する保育所を支援しました。 				
指標	① 子ども家庭支援センター相談件数 ② 在宅子育て家庭支援実施保育所数				
目標値	① ↑ ② 33園	初期値 (計画策定時)	① 899件 ② 21園	実績値 (計画終了時)	① 1,443件 ② 32園

■重点事業3-2-2 乳幼児の発達支援

事業概要	・発達に遅れや心配のある乳幼児の療育のあり方を検討します。				
5年間の取り組み内容	・発達に遅れや不安のある乳幼児を対象として、発達相談、療育の受け皿を充実するとともに、施設内のサービス提供だけではなく、関係機関と連携して療育の専門機関としてのノウハウを地域の子育て機関に伝え支援することにより、早期発見、早期支援に努めました。				
指標	療育内容、療育体制の再構築				
目標値	基本方針作成	初期値 (計画策定時)	—	実績値 (計画終了時)	基本方針作成 (2010年度)

■重点事業3-2-3 学童保育クラブ整備

事業概要	・すべての小学校区に学童保育クラブを整備します。 ・100名を超える児童が入所し、保育環境が悪化している学童保育クラブについて、増築などの整備を行い、狭あい化を解消します。			
5年間の取り組み内容	・学童保育クラブの新設整備を行い、小学校42校の全ての小学校区の整備を完了しました。 ・100名を超える児童が入所し、保育環境が悪化している学童保育クラブについて、増築し分室として整備し、狭あい化を解消しました。			
指標	① 学童保育クラブ施設数 ② 大規模学童保育クラブ施設数			
目標値	① 42施設 / 41小学校区（2009年） ② 0施設			
初期値 (計画策定時)	① 38施設 / 40小学校区（2007年4月） ② 5施設			
実績値 (計画終了時)	① 43施設 / 42校 ② 0施設			

(注) つるっこ学童保育クラブ（子どもセンターつるっこ施設内）を含みます。

※ 重点事業3-3-2「地域子ども教室」の施策と調整を図り進めました。

重点施策3-3 多様な体験ができる機会を充実する

～ 施策の取り組みの方向 ～

地域や学校による農業体験や水辺体験などの実施のほか、子どもが自ら考え、自分達で主体的に活動できる体験の場を、子ども達の行動圏内に整備しました。

～ 成果指標 ～

成果指標	目標値	初期値 (計画策定時)	実績値 (計画終了時)
小学生～中学生の保護者のうち、野外体験やボランティアの活動に参加した子どもを持つ保護者の割合 ＜市民意識調査＞	60%	27.4%	40.0%

■重点事業3-3-1 子どもセンター整備

事業概要	・子育て家族や、様々な年齢の子どもが集える子どもセンターの整備を進めます。
5年間の取り組み内容	・南地区、鶴川地区に次いで、相原地区に子どもセンターを整備しました。 ・忠生地区の子どもセンターの実施設計を完了しました。 ・町田地区の子どもセンターの検討を開始しました。
指標	子どもセンター数
目標値	5施設（事業着手・検討を含む）
初期値 (計画策定時)	2施設
実績値 (計画終了時)	5施設（事業着手・検討を含む）

■重点事業3-3-2 地域子ども教室

事業概要	・地域の中で最も身近な小学校の施設を利用し、すべての子どもたちが放課後に遊びやスポーツ、文化活動など様々な体験ができる放課後子ども教室を、地域と協力しながら作ります。				
5年間の取り組み内容	・子どもが放課後や休日に、身近な小学校の施設を利用して、運動や勉強、遊びなど様々な体験ができるプログラムを提供する地域の団体を支援しました。				
指標	地域子ども教室設置小学校数				
目標値	14校	初期値 (計画策定時)	0校	実績値 (計画終了時)	14校

■重点事業3-3-3 子どもの体験活動支援

事業概要	・子どもが自然の中で遊ぶことができる冒険遊び場を運営する民間団体を支援するとともに、青少年施設のカリキュラムを充実します。				
5年間の取り組み内容	・子どもが自然の中で遊ぶことができる冒険遊び場活動を行う3団体に補助を行いました。成瀬、野津田、相原にある冒険遊び場活動拠点の他、小学校や公園に出向いてイベントを開催することで、子どもが冒険遊び場を体験できる場を拡充しました。				
指標	冒険遊び場の数				
目標値	6箇所	初期値 (計画策定時)	3箇所	実績値 (計画終了時)	7箇所 (出前活動含む)

（2）町田市基本構想・基本計画（抜粋）

基本目標Ⅲ 活躍する人が育つまちをつくる

重点目標1 誰もが地域や社会で輝ける環境をつくる

○個別目標（1）充実した時間をすごせる機会を増やす

- ・ 様々な活動をする機会が得られている
- ・ 様々な文化や芸術に触れることができている
- ・ 多くの人が、好きなことや生きがいを持っている

○個別目標（2）地域や社会で活動できる機会を増やす

- ・ 地域活動、社会活動により地域が活性化している

重点目標2 知識や能力を生かし、社会で活躍できる人を育てる

○個別目標（1）意欲や能力のある人の起業を促進する

- ・ 市内の企業活動が活発になっている
- ・ 市内で働く市民が増えている

○個別目標（2）知識社会に対応した生涯学習を活発にする

- ・ 市民が、仕事や職業に求められる知識や技術を身につけることができている
- ・ IT（情報技術）を使える人が増えている

重点目標3 次世代の社会を担う人を育てる

○個別目標（1）子どもが健やかに育つ環境をつくる

- ・ 子育てしやすい環境が整っている
- ・ 地域が子育てを見守っている
- ・ 子ども同士が触れ合っている
- ・ 子どもへの虐待がない
- ・ 子どもが増えている

○個別目標（2）子どもが様々な体験ができる機会を増やす

- ・ 子どもが自らの目標を見つけている
- ・ 子どもが自ら進んでいろいろなことに挑戦している
- ・ 子どもが地域社会との関わりを持っている

（3）町田市子どもマスタープラン

①策定の経過

子どもを取り巻く社会状況の変化に伴い、子どもと子育て家庭への支援に対する市民のニーズが変化しており、従来の「福祉」や「教育」といった枠を超えた体制での施策推進が必要となっています。こうした状況を受け、子ども行政一元化を実施するとともに、町田市としての子ども施策の基本的な方向性を示すために「子どもマスタープラン」を策定しました。

- ・2003年11月 学識経験者、関連機関代表、公募市民等で構成される町田市子どもマスタープラン審議会に「マスタープランのあり方」を諮問。
- ・2004年8月 「子どもマスタープラン公聴会」を開催。45名の市民が参加。
- ・2004年10月 審議会が「子どもマスタープラン（案）」を市長に答申。
- ・2004年12月 子どもマスタープランを策定・公表。

●審議会の開催状況

- ・審議会（5回）
- ・専門部会（第1、第2、第3）延べ24回（各8回）
- ・プランの当事者である子どもの意見を反映させるために設けられた「子ども委員会（公募の中高生で構成）」（10回）

●プラン作成の基礎資料とするための調査

- ・子どもマスタープラン基礎調査
- ・次世代育成支援計画調査
- ・ひとり親家庭の子育てアンケート
- ・国際結婚家庭の子育てアンケート

- 2003年7月に施行された次世代育成支援対策推進法（平成15年法律第120号）第8条第1項の規定に基づき、市町村行動計画策定が義務づけられたことを受け、「町田市次世代育成対策推進行動計画」を子どもマスタープランに含め策定しました。

②子どもマスタープランの推進

子どもマスタープランは、次のように推進します。

- ・計画期間は、2005年度から10年間です。5年毎に必要な見直しを行います。
- ・子ども生活部が中心となり、関連する各課がプランに基づき推進します。
- ・子どもマスタープランに基づく推進計画の策定、推進状況の検証、総合調整は、副市長を長とする庁内組織「子どもマスタープラン推進委員会（庁内の関連する部長・課長で構成）」が担います。
- ・特に検討が必要な事項については、関連する課の職員で構成する作業部会を設置し、検討します。
- ・進捗状況について、本書「まちだの子ども施策」で毎年公表します。

（４）子どもマスタープランの基本理念・基本的視点・基本目標

（「町田市子どもマスタープラン」より抜粋）

基本理念

子どもが自分らしく安心して
暮らせるまちをみんなで創り出す

すべての子どもの心身ともに安全で健やかな成長を実現することは、現代社会の重要な課題です。人間としての基礎的な資質が作られるこの時期、大人と子どもの関わりのあり方は、子どもの生涯の充実した人生に大きく影響します。

また、子どもは現在の市民であるとともに、将来の市民社会の中核となる存在です。子どもを健やかに育み、豊かな市民性を培うことは、子どもの生涯を充実させるとともに、将来の市民社会の安定と発展のためにも必要なことです。

大人中心の暮らしや社会の価値を子どもの視点からも問い直し、子どもを支えていく社会をみんなで創り出します。

基本的な視点

（１）一人ひとりの子どもの権利実現の視点

子どもは一人の市民です。子どもも大人の市民と同様に、自分の意見を表明することができ、決定に参画する権利があります。子ども自らが考え行動し、他者と関わりながら成長できる環境を整えていくことが求められています。

また、子どもへの権利侵害が起きた場合の救済や、やり直しの機会が保障されるように、大人や社会が受け止めていくことも大切です。

大人も子どもも相互理解を深めながら、市民として現在と未来を一緒に創っていくという視点が必要です。

（２）子どもと親がともに成長する視点

子どもとの関わりを自らの子育てで初めて体験する親が多くなっています。

これまで、親としての自覚や知識・技術を持っていることを前提に支援が組み立ててきましたが、現代の子育てには子どもが成長する時、親も新たな体験を積み重ね、共に成長していく視点が必要です。

子育てスタート期を大切に、その場のみの助け合いや連携に止まらず、地域での子育て仲間の形成や地域で支え合える土壌づくりを行い、子どもも親も地域の人々も共に、成長し合うことが必要です。

（3）地域の中で家族を孤立させない視点

子育ての主体は家族にあります。けれども、家族の中で解決できない時や行き詰まった時に、さりげなく相談に乗ってもらったりすることがとても大きな力になるものです。一方では、子育て観・生活観などの多様化により、子育て家族と地域との結びつきに難しさを感じる市民も多くなっています。

多様な地域社会と家族との関わり方に視点を当てた地域活動が柔軟に展開されて、子育ての支え合いのできる地域社会を創ることが必要です。

（4）市民（子どもと大人）と行政の協働を進める視点

子どもに関わることは、子どもと大人が協働して取り組んでいくことが必要です。また、市民と行政は、行政がやるべきことと市民ができることの分担と協働を協議し、お互いに責任をもって事業を創り出していくことが大切です。

子どもと大人が協働することによって、当事者の視点が明確になりそれぞれの地域の実情にあった施策や活動の方向性が明らかになります。

基本目標 基本理念を実現するために、3つの基本目標を掲げました。

基本目標Ⅰ：子どもが健やかに育ち、
一人ひとり自分の中に光るものを持っている

基本目標Ⅱ：子どもが安らいでいる家族があり、
家族が地域とつながっている

基本目標Ⅲ：子どもが地域の中で大切にされている

（５）町田市子どもマスタープランの施策体系

基本目標Ⅰ：子どもが健やかに育ち一人ひとり自分の中に光るものを持っている

重点目標１：子どもの遊びや体験が大切にされ、主体的に参加し意見表明できる

- 個別目標（１）：コミュニケーション能力を育てる
- 個別目標（２）：参加と意見表明の場や機会をつくる
- 個別目標（３）：救済とやり直しの場や機会を保障する

重点目標２：大人になっていく力をつける（市民性の形成を育む）

- 個別目標（１）：乳幼児期の養護の充実
- 個別目標（２）：幼児教育の充実
- 個別目標（３）：学校教育の充実
- 個別目標（４）：思春期の子ども達の心と身体への健康教育
- 個別目標（５）：体験活動から学ぶこと（文化・スポーツ活動等）

基本目標Ⅱ：子どもが安らいでいる家族があり、家族が地域とつながっている

重点目標１：親になる力を身につける

- 個別目標（１）：親スタート期を支える
- 個別目標（２）：子育て期を支える
- 個別目標（３）：男女共同の子育てを進める
- 個別目標（４）：親の悩みを支える

重点目標２：親が働くことを支える

- 個別目標（１）：保育支援
- 個別目標（２）：サービスの質の向上と効果的・効率的な提供の充実

重点目標３：きめ細やかな支援が必要な家族を支える

- 個別目標（１）：障がいのある子どもと家族への支援
- 個別目標（２）：ひとり親家族への支援
- 個別目標（３）：外国籍家族への支援
- 個別目標（４）：被虐待児（DV家族児童を含む）と家族への支援

基本目標Ⅲ：子どもが地域の中で大切にされている

重点目標１：人と人が関わりつなげる場をつくる（家庭・施設・学校・地域・行政の協働）

- 個別目標（１）：地域の人材育成と人材活用
- 個別目標（２）：地元事業所・商店の関わり
- 個別目標（３）：体験できる場（多様な体験ができる機会を増やす）
- 個別目標（４）：交流できる場（子どもや子育てしている人がふれあい情報交換できる場を増やす）
- 個別目標（５）：子どもセンター・地域子育てセンターを中心とした地域づくり

重点目標２：一人ひとりに情報が確実に届く

- 個別目標（１）：子どもと親への情報の確保

重点目標３：みんなで安全・安心のまちをつくる

- 個別目標（１）：子どもの安全・安心の確保
- 個別目標（２）：子育てしやすいまちづくり

4. 子どもマスタープランに基づく各施策の取り組み

この章は、3つの基本目標ごとに次のように構成されています。

■ 重点目標

【 重点目標の解説 】

◆ 個別目標

【 個別目標の解説 】

【 指 標 】 <例>

指標名	単位	2009 年度 実績値	2010 年度 実績値	2011 年度 実績値	指標数値出典 (所管課)	備考
今住んでいる地域が、子どもが安全で健やかに育つ環境になっていると思う市民の割合	%	45.6	47.3	50.0	市民意識調査 (政策経営部企画政策課)	10段階評価の評価7以上の割合。評価10が最高得点。数値が大きいほど評価が高い。

【 解 説 】重点目標・個別目標のうち測定可能なものについて評価指標をつけ、2009年度から2011年度の数値を記載しています。他の資料から引用したものについては、出典資料とその所管課（2011年度）を記載しています。なお、調査内容等が変わり、数値を示すことができないものについては、実績値は「-」で掲載しています。

個別目標を達成するための事業の具体的紹介<例>

【 解 説 】この個別目標を達成するために行われた2011年度事業のうち、特徴的な事業とその内容・担当部課を紹介しています。

担当：事業を担当している部 課名

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪<例>

部名	事業名	事業の内容	対象	実施場所	所管課・係
子ども生活部	チャレンジ・チャンピオン(大会)	毎月1回いろいろなテーマでだれでも参加できる形態の大会で、様々なことにチャレンジする中で自己実現と友達との交流を目的として、行いました。(全10回実施)	小学生以上 18歳まで	南大谷子どもクラブ	児童青少年課 南大谷子どもクラブ

【 解 説 】この個別目標を達成するために行われている事業のうち、紙面の都合で詳しい説明をすることのできなかつた事業を名称と担当課のみ掲載しています。

*事業を所管している部・課の名称は2011年4月現在のものですが、2012年4月の組織改正で名称が変更となった課については、新旧両方の課の名称を掲載しています。

◎基本目標Ⅰ 子どもが健やかに育ち、一人ひとり自分の中に光るものを持っている

■重点目標Ⅰ 子どもの遊びや体験が大切にされ、主体的に参加し意見表明できる

【重点目標の解説】

- ①子どもが様々な遊びや体験の中で人間関係について学ぶことができ、大人も子どもの遊びや体験が大切なことを理解できるようにします。
- ②子どもが社会の様々なことに主体的に参加し、意見表明ができることを理解し、実践できるようにします。
- ③大人が子どもの参加や意見表明について理解し、受け入れることができるようにします。

【指標】

指標名	単位	2009年度実績値	2010年度実績値	2011年度実績値	指標数値出典(所管課)	備考
子どもが屋外体験やボランティア、町内会、自治会などの活動を経験することは重要だと思う保護者の割合	%	79.9	77.6	—	市民意識調査(政策経営部企画政策課)	10段階評価の評価7以上の割合。評価10が最高得点。数値が大きほど評価が高い。
子どもが好きなことに夢中になったり、頑張ったりしていると思う保護者の割合	%	86.4	87.5	—	市民意識調査(政策経営部企画政策課)	10段階評価の評価7以上の割合。評価10が最高得点。数値が大きほど評価が高い。

※ 企画政策課で実施している市民意識調査の内容が変更となったため、2011年度の実績値は「—」で表記しています。

◆1-1-個別目標Ⅰ コミュニケーション能力を育てる

【個別目標の解説】

- ①子どもが幅広い人間関係をつくり、意思疎通を図ることができるようにします。

【指標】

指標名	単位	2009年度実績値	2010年度実績値	2011年度実績値	指標数値出典(所管課)	備考
日常生活の中で近所の子どもと立ち話をしたり、子どもに声をかけたりすることがあると答えた市民の割合	%	32.0	29.8	—	市民意識調査(政策経営部企画政策課)	10段階評価の評価7以上の割合。評価10が最高得点。数値が大きほど評価が高い。

読書活動の推進

「第二次町田市子ども読書活動推進計画」に基づき、「意思疎通できる論理性や感性を養う」ことや乳幼児期から読書に親しむことを目的に図書貸し出しやおはなし会を行いました。おはなし会は、読書活動を行っている市民の団体にもご協力をいただき、実施しました。

担当：生涯学習部図書館・市民部市民課(玉川学園文化センター)・市民部忠生市民センター・市民部南市民センター(南町田駅前連絡所)・市民部小山市民センター・子ども生活部児童青少年課(子どもセンターばあん・子どもセンターつるっこ・子どもセンターばお・南大谷子どもクラブ)

※なお、忠生市民センター、南市民センター(南町田駅前連絡所)、小山市民センターは図書の貸し出しのみを行っています。

高齢者と近隣保育所の園児等の交流

近隣保育所（大蔵保育園・山崎保育園・こうさぎ保育園）の園児達が高齢者福祉センターへ来館し、歌やダンスや劇をセンター利用者的高齢者の方々に披露しました。また、高齢者と園児達が一緒に手遊びやゲームを楽しみ、交流を図りました。

担当:いきいき健康部高齢者福祉課
(ふれあいいちよう館・ふれあいくぬぎ館・ふれあいやき館)

子どもセンター合同事業「キャンプ」

◇「子どもセンターキャンプ」

自然の中で過ごす楽しさと、野外で生活するために必要な技術を身に付けること、また仲間と協力し合うことの大切さを知ってもらうことを目的に大地沢青少年センターでキャンプを実施しました。

◇「子どもセンター合同事業 川上村アドベンチャーキャンプ」

夏休みに長野県川上村に出かけ、登山、ロッククライミング、村探検などを行う4泊5日のキャンプを実施しました。

担当:子ども生活部児童青少年課

〔子どもセンターばあん・子どもセンターつるっこ〕
子どもセンターばお・南大谷子どもクラブ

2歳児あつまれ!“夏”をあそぼ!

2歳児と保護者を対象に町田市民文学館で、季節を感じるわらべ歌や紙芝居を通じて、ことばを楽しむ活動を行いました。この事業は「夏」だけでなく、「秋」「冬」「お正月」「春」にも実施しました。

担当:生涯学習部図書館(文学館)

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

部名	事業名	事業の概要	対象	実施場所	所管課・係
子ども生活部	あそんじゃ王!	野外でのびのび身体を動かし、普段遊んだことのない友達と遊びやゲームを行いました。(全29回実施)	小学生以上	子どもセンターばお	児童青少年課子どもセンターばお
生涯学習部	保育室文学サロントーク ちんぷいぷい	小さくたって文学(ことば)大好き!をキャッチフレーズに、わらべ歌や絵本の読み聞かせ等を通して、ことばを楽しむ活動をボランティアの協力を得て実施しました。親子交流の時間を設けることで、親にとって安心できる場になるとともに、家庭に絵本をつなげる場となりました。	0歳児~1歳児の親子	文学館	図書館(文学館)
	ことばであそぼう!うたであそぼう!	体を使ったリズム運動のリミックで、わらべ歌やしりとり、反対語などのことば遊びを楽しみました。	3歳児~小学生		

◆ 1-1-個別目標2 参加と意見表明の場や機会をつくる

【 個別目標の解説 】

- ① 子どもが家庭・学校・地域で大人を信頼し、自由に意見を言うことができるようになります。

【 指 標 】

指標名	単位	2009年度 実績値	2010年度 実績値	2011年度 実績値	指標数値出典 (所管課)	備考
子どもセンターおよび子どもクラブの 子ども委員会委員数(2011年度未現在)	人	106	112	129	子ども生活部 児童青少年課	—
市が実施した、子どもを対象とした事業 のうち子どもが企画運営に参加した 割合	%	22.4	13.7	9.1	子ども生活部 子ども総務課	子ども総務課が市の各課に 行った調査

子どもセンター・子どもクラブの子ども委員会

子どもセンターばあん、子どもセンターつるっこ、子どもセンターぱお、南大谷子どもクラブに小学生～18歳までが参加・運営する子ども委員会が設置されています。子ども委員会では、子どもたちが主体的に子どもセンター・子どもクラブのルールや行事の企画・準備・運営などについて、各センターのスタッフと共に考え、活動しました。

担当:子ども生活部児童青少年課

子ども教育委員会

市立小学校全42校の児童の代表が集まり、テーマ(2011年度は「小学生からエコ発信!」)について、事前に学校で話し合った意見をもとに、子どもたち自らが解決に向けて出来ることを話し合い、発表しました。

担当:学校教育部教育総務課

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

部名	事業名	事業の概要	対象	実施場所	所管課・係
地域福祉部	社会を明るくする運動 支援事業	“社会を明るくする運動”の一環で作文コンテストを実施しました。選考委員会により作品を選び、東京都推進委員会へ推薦しました。	・小学生 ・中学生	本庁 第2会議室	福祉総務課事業係
	中学生人権作文コンテスト	人権問題に関する作文を書くことにより、人権尊重の重要性や必要性について理解を深め、豊かな人権感覚を身につけることを目的に行いました。	中学生	中学校 ・町田第一 ・南大谷 ・南 ・成瀬台 ・鶴川第二 ・真光寺 ・忠生 ・山崎 ・木曾 ・小山田	福祉総務課総務係
	子どもからの人権メッセージ発表会	さまざまな体験をメッセージにすることにより、人権尊重の精神と自由について、意見を発表する権利を理解することを目的とし、行いました。	小学生	本町田東 小学校	

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

部名	事業名	事業の概要	対象	実施場所	所管課・係
子ども生活部	つるっこライブ	つるっこで練習しているグループに参加募集を行い、実施しました。	(出演者) 中学生 ～18歳	子どもセンター つるっこ	児童青少年課子どもセンターつるっこ
	中高生ライブ 「金森春の Baan 祭り」	日頃ばあんの「すたじお」「ろふと」を利用している中高生同士が皆で話し合い、親睦を深め、ひとつのイベントを作り上げ、達成感を味わい、今後の活動につなげるための手作りのライブを実施しました。	(出演者) 中学生 ～18歳	子どもセンター ばあん	児童青少年課子どもセンターばあん
生涯学習部	市民企画講座 夏休み子どもアート体験	①日本画の体験(うちわに絵を描く) ②工作(水族館づくり) ③家族の記念写真作りを親子で一緒に作業することを体験	小学生の親子	まちだ中央公民館	公民館 (現在:生涯学習センター)
	太筆で書くダイナミック書初め大会	ことばに思いを込めて体でことばを表現する活動を行いました。	小学生 ・中学生	文学館	図書館(文学館)

◆1-1-個別目標3 救済とやり直しの場や機会を保障する

【個別目標の解説】

- ① 子どもが悩んだときに気軽に相談するところがあり、立ち直りを支えることができるようにします。

■重点目標2 大人になっていく力をつける(市民性の形成を育む)

【重点目標の解説】

- ① 子どもが成長段階に応じた様々な体験の中で社会について学び、社会の一員としての自覚を持つことができるようにします。

◆1-2-個別目標1 乳幼児期の養護を充実させる

【個別目標の解説】

- ① 乳幼児とその親が精神的に安定した状態で生活を送ることができるようにします。

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

部名	事業名	事業の概要	対象	実施場所	所管課・係
子ども生活部	ベビーマッサージ	マッサージによる、スキンシップ・コミュニケーションを通して、ゆったりと赤ちゃんと向き合い親子ともどもリラックスする時間を過ごしました。	2ヶ月児～1歳児未満	子どもセンター つるっこ	児童青少年課子どもセンターつるっこ
生涯学習部	乳幼児を持つ保護者のための家庭教育学級	日頃の子育てについて、同じ悩みを抱えている親が学習と話し合いを行い、子育てを楽しみながらできるようになることをねらいとした講座で、全10回実施しました。	1歳児～2歳児を持つ親と子	まちだ中央公民館	公民館 (現在:生涯学習センター)

◆ 1-2-個別目標2 幼児教育を充実させる

【 個別目標の解説 】

- ① 幼児を持つ親が様々なプログラムの中から教育方法を選択することができるようにします。

【 指 標 】

指標名	単位	2009年度 実績値	2010年度 実績値	2011年度 実績値	指標数値出典 (所管課)	備考
預かり保育実施幼稚園数	園	8	8	11	子ども生活部 子育て支援課	市の預かり保育充実補助金の交付を受けた私立幼稚園数。 ※中期経営計画指標

私立幼稚園の預かり保育事業への補助

幼稚園の「預かり保育」は、通常の教育課程に係る教育時間の前後や長期休業期間（春・夏・冬休み）などに、幼稚園に在園児の保護者の要請に応じて、子どもを預かるものです。幼稚園に在園している保護者の就労形態の多様化等に伴い、「預かり保育」へのニーズが高まっています。町田市では、教育時間および預かり保育時間を合計して8時間以上、通年で開園する等の市が定める一定の条件を満たす預かり保育を実施している園に対し、事業費の補助を行いました。

担当:子ども生活部子育て支援課

◆ 1-2-個別目標3 学校教育を充実させる

【 個別目標の解説 】

- ① 義務教育の対象となるすべての子どもが小学校・中学校に楽しく通えるようにします。

【 指 標 】

指標名	単位	2009年度 実績値	2010年度 実績値	2011年度 実績値	指標数値出典 (所管課)	備考
充実した学校教育を子どもに受けさせることができていると感じている保護者の割合	%	54.4	63.6	50.8	市民意識調査 (政策経営部企画政策課)	10段階評価の評価7以上の割合。評価10が最高得点。数値が大きいほど評価が高い。

納税活動推進事業

町田納税貯蓄組合連合会の活動を推進する一助として、町田市立中学校3年生を対象に同連合会が実施している中学生の税の作文について、租税教育の一環として町田市も協力しました。

担当:財務部納税課

小中一貫教育・町田っ子カリキュラム

教育委員会では、2008年度から市立全小・中学校を本市独自の重点カリキュラムでつなげる全市型の小中一貫「町田っ子カリキュラム」と、地域ごとに課題を明確化し、共有しながら、その解決に向けて小・中学校が連携して指導を図る地域型の「小中一貫指導推進校」のふたつの取り組みを軸とした「小中一貫教育」を実施しています。「町田っ子カリキュラム」は、規範意識やコミュニケーション能力を高めながら、働くことや学ぶことの大切さを実感し、心身ともに健康で、進んで社会に関わろうとする子どもたちを育てていくことを目標にしています。また、小・中学校全校で、小中一貫教育（規範教育、英語教育、キャリア教育、食育）カリキュラムにより、授業を実施しました。

担当：学校教育部指導課

学校選択制度

通学距離や部活動など様々な理由で「学校を選択したい」というニーズに応えるため、新小・中学校1年生を対象に学校選択制度を実施しました。

担当：学校教育部学務課

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

部名	事業名	事業の概要	対象	実施場所	所管課・係
地域福祉部	「種をまこう」の冊子配布	人権について考えるための冊子を、市内の小学校に配布しました。	小学生	町田市立の全小学校	福祉総務課総務係
	「子どもの人権SOSミニレター」の配布	子どもたちの悩みを把握し、人権問題の解決を図るため、ミニレターを配布しました。	・小学生 ・中学生	町田市立の全小・中学校	
いきいき健康部	動物愛護啓発パンフレット「ほんとうに飼えるかな？」配布	学校教育の場で、動物の愛護や適正飼育の普及啓発のための教材として、パンフレットを配布しました。	小学3年生	市内小学校	生活衛生課動物管理係
	薬物乱用防止教室	医薬品の適正使用や、薬物乱用防止について、保健所職員が講師として講話を行いました。	小学生		生活衛生課医薬指導係
学校教育部	小学校適応指導教室「けやき教室」	公立小学校に在籍する不登校および不登校の傾向にある児童に対して、学校復帰の指導および援助を目的として、事業を実施しました。	小学1年生 ～小学6年生	町田市教育センター	指導課教育センター係
	学校ネットワーク整備	市立小・中学校全校の学校ネットワーク環境およびパソコン台数の整備を図り、情報教育環境の充実を推進しました。	市立 ・小学校 ・中学校	市立 ・小学校 ・中学校	
	小学校1年学級への生活指導補助者派遣	小学校1年生の学級で、児童が規律ある学校生活にスムーズに適応できるように補助を行いました。	市立小学校1年生の全学級	市立小学校	指導課管理係
	特色ある学校づくり	各小中学校において「国際理解」、「地域理解」、「ボランティア活動」、「福祉体験」等を実施し、地域に開かれた特色ある学校づくりを行いました。	市立 ・小学校 ・中学校	市立 ・小学校 ・中学校	

◆ 1-2-個別目標4 思春期の子どもたちの心と身体を健康教育を充実する

【 個別目標の解説 】

- ① 思春期の子どもたちが自分の世代の心や身体について学ぶことができるようにします。

小学生・中学生に対する道路利用マナー向上啓発活動

道路利用マナー向上を呼びかけるため、市内の小学校4年生に、道路適正利用啓発リーフレット「君と歩きたい道」を配布しました。

さらに、啓発促進グッズとして“みちピカ町田”ステッカーの図案を使用した「反射シール」を配布し、道路をより良くする運動“みちピカ町田”の紹介をしました。

そして、中学校1年生には、リーフレット「Michi（みち）～毎日通っている道について考えてみましょう～」を、配布しました。

担当：建設部道路管理課

中学校給食

栄養バランスのとれた食事を提供し、正しい食習慣を身につけることにより、好ましい人間関係の育成や健康増進を目的に、中学校給食を実施しました。この給食は希望制で、弁当併用外注方式を採用し、2011年度の喫食率は約24%となっています。

担当：学校教育部保健給食課

【用語解説：弁当併用外注方式】

給食を希望する生徒に対し、調理業者が調理した弁当を学校に配達する給食の提供形態。なお、家庭からの弁当を持参することも可能。

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

部名	事業名	事業の概要	対象	実施場所	所管課・係
いきいき健康部	思春期精神保健相談（保健師）（専門医）	不登校、ひきこもり、家庭内暴力、摂食障がいなどの思春期のこころの問題について、保健師による相談を行いました。また、月1回の思春期専門医による相談を行いました。	子ども～大人	町田市保健所	保健対策課地域保健係

◆ 1-2-個別目標5 体験活動から学ぶようにする(文化・スポーツ活動等)

【 個別目標の解説 】

① 子どもが様々な活動に参加し、多くの体験を得ることができるようにします。

【 指 標 】

指標名	単位	2009年度 実績値	2010年度 実績値	2011年度 実績値	指標数値出典 (所管課)	備考
子どもが野外活動やボランティアの活動に参加した保護者の割合	%	27.3	28.4	40.0	市民意識調査 (政策経営部企画政策課)	※中期経営計画指標
子どもが子ども同士で遊んだり触れ合ったりすることができる機会や場所が身近にあると感じている保護者の割合	%	60.0	62.3	—	市民意識調査 (政策経営部企画政策課)	10段階評価の評価7以上の割合。評価10が最高得点。数値が大きいほど評価が高い。

青少年施設ひなた村

青少年の文化活動や創作活動、あそびと創造の場と機会を提供する施設です。市内で活動しているサークルやグループ等にひなた村屋内外を開放しています。カリヨンホール、レクリエーションルーム、和室、屋外炊事場があります。子どもグループの育成事業として人形劇、電気工作、遊びの各グループが、毎週ひなた村に集まり活動しました(毎年4月に募集)。また、主催事業として、縄文体験学習や、チャレンジ教室、創作童話募集など、青少年を対象とした事業を実施しました。

◇所在地 町田市本町田2863

担当:子ども生活部ひなた村

大地沢青少年センター

大地沢青少年センターは町田市の西端にあり、草戸山をはじめとする山に囲まれた自然に恵まれた場所です。

施設周辺では、ムササビやリス、イノシシなどのほ乳類をはじめ、ホタルや沢ガニ、野鳥など様々な野生動物が生息しています。

東京ドーム約4.7個分、約22万平方メートルの敷地内には、野外炊事場やキャビン、テントサイト、研修棟の他、本館内には宿泊室や音楽演奏ができるホールもあります。また、「親子陶芸教室」「森林体験塾」などの様々な主催事業や、「絵付け陶芸」、「焼き板作り」などのプログラムサービスを実施しました。

◇所在地 町田市相原町5307-2

担当:子ども生活部大地沢青少年センター

ウルトラティーンズ

グループ活動を通して、キャンプ、町探検、運動会、センター合宿などを楽しみながら、リーダーとしての経験を身に付けるための講座を各子どもセンターで実施しました(運動会、キャンプは子どもセンター合同で実施)。また、キャンプ・合宿でのグループ活動の内容を、子どもたちが企画して行いました。

担当:子ども生活部児童青少年課

子どもセンターばあん
子どもセンターつるっこ
子どもセンターばお

南大谷子どもクラブの「夏事業」

いろいろな事に挑戦し、体験することにより達成感を得られ、自己の自信に繋がります。個々の興味に合わせて、チャレンジする内容も様々な事業を用意し、夏休みの作品として、子どもだけでなく、保護者の方も真剣になる場面もありました。自由参加、無料のもの、申し込み制で材料費の必要なもの等いろいろな事業を実施しました。

- ◇木材で・・・自由工作
- ◇卓球大会
- ◇ペットボトルライト
- ◇ドライアイスでシャーベット
- ◇キラキラドーム
- ◇木工作時計
- ◇マイバック
- ◇オリジナルレザークラフト
- ◇映画ウィーク4日間
- ◇ゲーム・工作ウィーク4日間

担当:子ども生活部児童青少年課(南大谷子どもクラブ)

体操教室

総合体育館で、様々な年齢の子どもを対象とした体操教室を実施しました。

- ◇主に幼児とその保護者を対象とした体操教室・・・よちよち親子体操教室、てくてく親子体操教室、親子体操教室、親子ふれあい体操教室
- ◇幼児向け体操教室・・・ちびっこ体操教室、わんぱく体操教室、わくわくキッズ運動教室
- ◇小学校1・2年生向け体操教室・・・小学生短期集中体操教室、わくわくジュニア運動教室
- ◇運動が苦手な小学生を対象とした体操教室・・・鉄棒、跳び箱、マット運動を行う小学生体操教室

担当:文化スポーツ振興部スポーツ振興課

丘陵散策とさつま芋ほり

小学生以下の子どもと保護者を対象に、小山田緑地を親子で散策し、豊かな自然環境に触れ合い、小野路の奈良ばい谷戸でさつま芋ほりを行いました。これは、市民の手による農地環境の適正管理・再生を実施し、水田や雑木林の保全のための新たな担い手・支援者を広げる一環の事業として、保全活動の周知と啓発活動も実施しました。

担当:経済観光部北部丘陵整備課

環境とごみに関する出前講座(幼稚園・保育所)

幼稚園や保育所の園児を対象に、幼児にもわかりやすく楽しく、物を大切にする心や分別の大切さを学びました。申し込みのあった園に職員が出向いて、職員手作りの紙芝居、お芝居や歌を交え、ごみ収集車を持ち込んでのごみ入れ体験などを行いました。2011年度は20園で出前講座を実施しました。

環境とごみに関する出前講座(小学校)

小学生の環境教育プログラムの一環として、3R(リデュース・リユース・リサイクル)の大切さを学びました。申し込みのあった学校に職員が出向き、学校に持ち込んだごみ収集車を動かしながらの説明や、ごみ入れ体験を行いました。2011年度は25校で出前講座を実施しました。

**担当:環境資源部清掃事務所指導係
(現在-環境資源部3R推進課対策係)**

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

部名	事業名	事業の概要	対象	実施場所	所管課・係
市民部	夏休み子ども科学教室	「ナイト・アンド・デイ」というタイトルで、太陽・地球・月の模型を作成し、天体相互の関係とそれによって起きる現象について学びました。自然科学に対する興味を深めることによって、科学的な洞察力を身につけ、将来賢い消費者になってもらうことを期待して、行いました。	小学4年生 ～小学6年生	町田市民フォーラム	市民協働推進課消費生活センター
	夏休み子ども環境講座 キミもわくわく地球防衛隊	玉川大学学生環境保全委員会の学生たちと楽しく遊びながら、環境問題についての意識を育み、また、自ら考えることの大切さを学びました。	小学生		
文化スポーツ 振興部	キッズ伝統芸能	子どもに日本の伝統文化(箏)をふれさせ伝統芸能を体験できるよう、実施しました。	・小学生 ・中学生 ・高校生	町田市民ホール	文化振興課
	夏休みピンホールカメラ教室	ピンホールカメラの組み立てから、撮影・ネガ作り、プリントまでを体験しました。また、テキストを使って、画像の写る仕組みや、写真の歴史などの理解を深めました。撮影したプリントによる写真展を開催、カメラの楽しさを知ってもらいました。協力：日本写真協会、町田市写真協会	小学生以上	町田市フォトサロン	
	小学生水泳スクール	小学生の水泳初心者を対象に、水に慣れるところから浮き身、キック、クロール、背泳ぎ25mの完泳を目指し、実施しました。	小学生	室内プール	スポーツ振興課
	テニススクール(ジュニア教室)	基礎運動能力の向上からテニスの基礎、ゲームを楽しむまで個人のランクに応じてクラスを設定し、実施しました。	4歳児 ～高校生	成瀬クリーンセンター テニスコート	
	バドミントン競技普及啓発事業	東京国体において、町田市内で開催されるバドミントン競技の普及啓発を目的としたバドミントン教室および模範試合を実施しました。	小学生～成人	総合体育館	国体推進課
	軟式野球普及啓発事業	東京国体において、町田市内で開催される軟式野球競技の普及啓発を目的とした野球教室を実施しました。	中学生	市民球場	
	サッカー競技普及啓発事業	東京国体において、町田市内で開催されるサッカー競技の普及啓発を目的としたフットサル大会を実施しました。	小学生～成人	総合体育館	
	バレーボール競技普及啓発事業	東京国体において、町田市内で開催されるバレーボール競技の普及啓発を目的としたバレーボール教室およびVリーグ観戦を実施しました。	小学生 ～中学生		
	総合体育館こけらおとし「ゆりーと」ダンス教室	総合体育館を修繕した記念イベントの一つで「ゆりーと」ダンス教室で国体PRの広報啓発を行いました。	小学生～成人		
地域福祉部	「人権の花」運動	協力し合って花を栽培することにより、人権の大切さに気づき、豊かな人権感覚を身に付けることを目的に実施しました。	小学生	小学校 ・本町田東 ・鶴川第四 ・忠生第三 ・小山ヶ丘	福祉総務課総務係
子ども 生活部	こうさくたいむ	身近な材料で、遊べるものや飾れるものを作り、手作りの楽しさを知ってもらう工作教室を全36回実施しました。	幼児～18歳	子どもセンター つるっこ	児童青少年課子どもセンターつるっこ
	すまいるクッキング	お菓子作りやランチ作りをグループで協力しながら、調理を体験し、作る楽しさを感じる事業を全11回実施しました。	小学生～18歳		
	町田市子どもセンターつるっこ子ども委員会主催事業	子ども委員会の子どもたちが企画・実施し、来館者に楽しんでもらうイベントで、『つるっこ5ランド』、『ウインターイベント2011』を実施しました。	0歳児～大人		
	HIP HOP DANCE!	プロダンサーの指導によるヒップホップダンス教室で、最後にステージで発表しました。(全4回実施)	小学6年生 ～18歳	子どもセンター ばあん	児童青少年課子どもセンターばあん
	まるともクラブ	制作活動や料理活動、集団活動を通して、学校学年をこえた交流を深め、自主性や社会性を養うことをねらいとした定例クラブ。2011年度は従来のまるともクラブの行事のほかに野菜作り・乳幼児との合同ミニ運動会を実施しました。(全16回実施)	小学1年生 ～小学6年生 ※定員30名		
	茶道「こすもすクラブ」	お茶のお稽古を通して茶道の心「和敬静寂」に触れ、豊かな感性を養い交流を深める定例クラブ。夏のお茶会(8月)、ひなまつり茶会(2月)・野天茶会(3月)を実施しました。(全11回実施)	小学生～高校生 ※定員40名		

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

部名	事業名	事業の概要	対象	実施場所	所管課・係
子ども生活部	つくし野中学校特別支援学級 陶芸教室	つくし野中学校特別支援学級の生徒を対象とした陶芸教室。製作を通して感性を豊かにすることを目的として実施しました。	つくし野中学校特別支援学級の生徒		
	工作教室	廃材等を利用する工作教室。作る事を楽しみながら、資源の大切さや再利用についても考える定例事業を全 44 回実施しました。	幼児～18 歳	子どもセンターばあん	児童青少年課子どもセンターばあん
	きみのでばあん	けんだま(5/12～6/4)、ドッチボール(8/25)、なわとび(11/11～12/4)、こままわし(2/3～3/5)の大会。異年齢集団の中で技を磨き自信をつけるなど、楽しみながら遊びの世界を広げられるよう、実施しました。	18 歳まで		
	つくっちゃ王!	リサイクル工作を中心に考案、試作、実施していく内容で、自由に一人ひとりのペースに応じて工作に取り組むことで、苦手意識を持つ子も抵抗なく参加できるものとして、実施しました。(全 26 回実施)	小学生以上	子どもセンターばお	児童青少年課子どもセンターばお
	王座決定戦	缶積み、縄跳び、豆運び、輪投げ、魚釣りの各王座を決定し、表彰しました。	18 歳まで		
	工作ばんばん	廃材や身近な材料を使って簡単に作れる楽しさを味わう事業。幼児から小学生向けの工作を毎週水曜日に実施しました。(全 35 回実施)	保護者同伴の幼児から 18 歳まで	南大谷子どもクラブ	児童青少年課南大谷子どもクラブ
	チャレンジ・チャンピオン(大会)	毎月 1 回いろいろなテーマでだれでも参加できる形態での大会で、いろいろなものにチャレンジする中で自己実現と友達との交流を目的とし、全 10 回実施しました。	小学生以上 18 歳まで		
	子どもセンターキャンプ	自然の中で過ごす楽しさと、野外で生活するために必要な技術を身につけ、仲間と協力し合えば、いろいろなことができるということを知ることを目的に実施しました。	小学 4 年生～18 歳	大地沢青少年センター	児童青少年課子どもセンター ・つるっこ ・ばあん ・ばお ・南大谷子どもクラブ
	子どもセンター合同事業 川上村アドベンチャーキャンプ	夏休みに川上村に出かける、4 泊 5 日のキャンプ。登山、ロッククライミング、村探検などを実施しました。	小学 5 年生～18 歳	長野県川上村	
	川上村自然体験塾～林業編～	川上村の深い森の中で、不要木を伐採し、森林の保全について学びました。	小学 4 年生～小学 6 年生	町田市自然休暇村	
	川上村自然体験塾～農業編～	川上村でレタスの収穫・作付け体験や出荷作業を見学し、普段食べている野菜がどのように育ち、自分たちのもとへ届くのかを学びました。			
	親子陶芸教室	陶芸初心者の親子を対象に、板作りでカップやお皿などの作品を作りました。	小学生以上の児童とその保護者	大地沢青少年センター	大地沢青少年センター
	森林体験塾	身近な自然を守り育てる市民団体の指導の下、山林整備や木工作等の森林体験プログラムを通し、森の恵みと役割を体験的に学びました。(全 3 回実施)	小学生以上の児童とその保護者	大地沢青少年センターおよび周辺の山林	
青空アトリエ	青空の下で木やまゆ玉からのこぎりやナイフを使って工作を行う体験教室を実施しました。	子ども～大人	大地沢青少年センター		
経済観光部	どんぐり植え	「どんぐり」という身近でかつ、鶴見川源流域の自然環境を構成する重要な要素を取り上げることによって、生きものの不思議や豊かな自然に恵まれている地域であることの理解を深め、自分たちのふるさとを大切にすることを目的に行い、どんぐり植栽体験、地域の自然観察を実施しました。	小山田小学校 3 年生	上小山田町鶴見川源流保水の森	北部丘陵整備課
	山中地区(忠生 630 号線)植樹祭	地域の景観と生物の多様性のある自然環境を再生し、人々が親しみを持てる身近な森をつくりなおすため、クヌギ、コナラ、ヤマザクラ、モミジなどの苗木を植樹しました。	・小学生とその保護者 ・地域団体	山中地区(忠生 630 号線)沿い	
環境資源部	こどもエコクラブ事業	「こどもエコクラブ」は、次世代を担う子どもたちが、地域の中で仲間と主体的に地域環境、地球環境に関する学習や具体的な取組・活動を行うものです。その活動の支援のため市町村事務局は、全国事務局等との連携を図り、市内のクラブ募集・登録および会員手帳や情報誌の配布を実施しました。	幼児から高校生まで	・各家庭 ・学校 等	環境・自然共生課
	夏休み子どもリサイクル体験	紙芝居と変身ボックス体験から、自分にもできることを伝える「ハチドリ教室」と「紙すき」「布ぞうり作り」体験を通して資源の大切さを学び、リデュース、リユース、リサイクル(3R)の必要性を知ってもらうことを目的に実施しました。	小学 1 年生～小学 6 年生	町田リサイクル文化センター	ごみ減量課 (現在:3R 推進課推進係)

◎ 基本目標Ⅱ 子どもが安らいでいる家族があり、家族が地域とつながっている

■ 重点目標 1 親になる力を身につける

【 重点目標の解説 】

- ① 妊娠期から子育て期の親が、安心して出産や子育てをするためのサービスを受けることができるようにします。

◆ Ⅱ-1-個別目標 1 親スタート期を支える

【 個別目標の解説 】

- ① 妊娠期の親が精神的に安定して妊娠期を過ごし、出産を迎えることができるようにします。

【 指 標 】

指標名	単位	2009年度 実績値	2010年度 実績値	2011年度 実績値	指標数値出典 (所管課)	備考
妊娠健康調査の受診率	%	94.9	94.0	91.1	いきいき健康部健康課	—
産婦健康診査の受診率	%	91.2	94.4	94.9	いきいき健康部健康課	—

育児支援ヘルパーの派遣

産後まもなく、日中に誰からも援助を得られない家庭にヘルパーを派遣し、育児相談や簡単な家事等の援助など、養育支援が必要と思われる家庭に育児支援ヘルパーを派遣しました。対象は、町田市に住所を有する方です。

- ◇ 出産し、退院した翌日から2か月以内で40時間まで
- ◇ 双子は、出産日から1年以内で100時間まで
- ◇ 三つ子以上は、出産日から4年以内で年156日まで
- ◇ 午前8時～午後7時までの時間帯のうち、1日1回連続して2時間以上4時間まで

● 費用

- ・ 1時間 820円（所得税非課税世帯・生活保護世帯の減免あり）
- ・ 交通費実費。派遣日前日の午後5時以降からキャンセル料が発生します。

● サービス内容

- ・ 育児に関する援助および助言・相談
沐浴、授乳、オムツ交換、兄姉児の幼稚園・保育所の送迎等（徒歩・公共交通機関のみの利用で交通費実費）
- ・ 家事の援助（食事の準備・居室まわりの掃除・洗濯・買い物）
- ・ 健診への付き添い

* 一般の家事援助ヘルパーとは異なり、サービス内容には制限があります。

担当：子ども生活部子育て支援課（子ども家庭支援センター）

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

部名	事業名	事業の概要	対象	実施場所	所管課・係
いきいき健康部	妊婦に対する医療費助成	対象となる疾病により入院治療された方への医療費助成を行いました。	対象疾病に該当し、所定の条件を満たす妊婦	—	保健対策課保健対策係
	母子健康手帳	妊娠・出産・各種健康診査・予防接種を記録し健康の保持増進を図りました。	妊婦	・健康福祉会館 ・各市民センター	健康課
	妊婦健康診査	妊婦の健康管理と健康の保持増進に努めました。	妊婦	契約医療機関	
	妊婦歯科健康診査	妊婦の健康管理と健康の保持増進に努めました。	妊婦	健康福祉会館	
	妊産婦・乳幼児保健指導	経済的理由により保健指導を受け難い妊産婦・乳幼児に対して健康管理と健康の保持増進に努めました。	・妊産婦 ・乳幼児		
	母親学級 両親学級	妊娠中の健康管理・栄養・お産の正しい知識・産後の注意・新生児の保育指導を行い、母子の健康増進を図りました。	妊婦と夫		
	妊婦クラス				
	ママクラスクッキング	妊娠中の健康管理・正しい食生活の支援を行い、母子の健康増進を図りました。			
母子保健訪問指導事業	健康相談や育児支援のために、家庭に訪問して支援を行いました。	・妊産婦 ・乳幼児	健康福祉会館より各家庭へ		
子ども生活部	びゅあたいむ	自由遊び・手遊び・おはなし・工作・交流などを全 10 回実施しました。	0 歳児～1 歳 3ヶ月児頃の乳幼児と保護者	子どもセンター つるっこ	児童青少年課子どもセンターつるっこ
生涯学習部	親と子の交流ひろば ぎしゃポッポ	話し合いや参加型講習を中心に、孤立しがちな子育てを家族、地域で考え、仲間作りを図りました。(全 30 回実施)	・第 1 子の 0 歳児・1 歳児を持つ親と子 ・妊婦とそのパートナー	まちだ中央公民館	公民館 (現在生涯学習センター)
	親と子の交流ひろば ババきしゃ	主に父子を対象として、話し合いや参加型講習を中心に、孤立しがちな子育てを家族、地域で考え、仲間作りを図りました。(全 10 回実施)			

◆Ⅱ-1-個別目標2 子育て期を支える

【個別目標の解説】

- ① 子育て中の親が孤立感を持たずに子育てをすることができるようにします。

【指標】

指標名	単位	2009 年度 実績値	2010 年度 実績値	2011 年度 実績値	指標数値出典 (所管課)	備考
在宅家庭支援実施保育所数	園	20	24	25	子ども生活部 子育て支援課	保育所の「子育てひろば事業」と「つどいのひろば」事業の合計 ※中期経営計画指標
子ども家庭支援センターの相談件数	件	1,154	1,209	1,443	子ども生活部 子育て支援課	※中期経営計画指標

地域子育てセンター事業

在宅で子育てをされている家庭を対象に、市内保育所等を会場に、親子で遊びながら子育ての楽しさを感じたり、親同士・子ども同士の交流を深めたり、さまざまな情報交換ができる機会を提供しました。

また、親子で同年齢のクラスに入り、保育所の生活を体験することができます（要予約・食事代が必要です）。食事・排泄・睡眠・言葉・遊び・友だち・・・子育てのことなら何でも相談を受け付けています。保育所の園庭の開放もしています。

担当：子ども生活部子育て支援課

■地域子育てセンター事業の情報は、町田市公式ホームページ内 子育てひろばカレンダー・キッズページ（「イベント情報」→「保育園」）でご覧いただけます。

*キッズページURL <http://www.city.machida.tokyo.jp/kids/event/hoiku/index.html>

子どもセンター・子どもクラブの子育て支援事業

各子どもセンター・子どもクラブでは、乳幼児とその保護者を対象にしたキッズアタック（ばあん）、ぽっぷんたいむ（つるっこ）、ぱわぱふたいむ（ぱお）、ぴっころタイム（南大谷子どもクラブ）などの子育て支援の事業を実施しました。

担当：子ども生活部児童青少年課

ショートステイ、トワイライトステイ

◇ショートステイ（原則として2歳～12歳）

保護者が疾病等の事由により、宿泊での養育を必要とする時に児童の食事その他身の回りの世話・生活指導等を行い、家庭的な環境で児童を短期間お預かりする事業です。

◇トワイライトステイ（原則として2歳～12歳）

保護者が社会的事由等により、帰宅が夜間に及ぶ時に児童の食事その他身の回りの世話・生活指導等を行い、夜10時までお預かりする事業です。子ども家庭支援センター（☎724-4419）で利用相談を受け付けます。

担当：子ども生活部子育て支援課(子ども家庭支援センター)

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

部名	事業名	事業の概要	対象	実施場所	所管課・係
市民部	暮らしのセミナー 第1期 「あなたの子ども見えていますか？」	子どもとの向き合い方、子どもを取り巻く問題について様々な角度から情報提供を行いました。 ①「親の知らない危うい世界～インターネットと携帯～」 ②「子どものこころのコーチング」 ③「急がなくなっちゃ！豊かな社会だからこそ、子どもの金銭教育」	主に小学生、中学生の子を持つ保護者	町田市民フォーラム	市民協働推進課消費生活センター
	子どもの身体に合った靴をはかせていますか？ ～今、子どもの靴が危ない！～	成長期の子どもに、経済的な理由から大き目の靴を購入して履かせてしまうと、それによって、将来にわたって思わぬ影響を与えてしまうことがあるため、情報提供を行いました。	主に小学生の子を持つ保護者		
地域福祉部	健全育成事業	都および市の要綱に基づき支払事務を行う(都 10/10 補助)生活保護を受けている世帯の学童・児童に対し、学童服・運動衣、夏期休業中に行われる各種野外活動等の参加費用、中学卒業者の就職活動時の支度金、修学旅行に参加する費用を支給することにより、当該学童・児童の健全育成および、その者の属する世帯の自立助長を図りました。	生活保護を受けている世帯の学童・児童(小学生・中学生)	—	生活援護課 ・援護第一係 ・援護第二係 ・援護第三係 ・援護第四係
いきいき健康部	結核児童の療育給付	結核に罹患した18歳未満の方に対し、入院医療に要する費用等を負担しました。	結核に罹患し、入院を必要とする18歳未満の方	—	保健対策課保健対策係
	3～4ヶ月児健康診査	各健診で乳幼児の健康増進、疾病の早期発見と保護者への育児支援を行いました。	該当する乳幼児	・健康福祉会館 ・鶴川分館	健康課
	6～7ヶ月児健康診査	各健診で乳幼児の健康増進、疾病の早期発見と保護者への育児支援を行いました。	該当する乳幼児	契約医療機関	
	9～10ヶ月児健康診査				
	1歳6ヶ月児健康診査	各健診で乳幼児の健康増進、疾病の早期発見と保護者への育児支援を行いました。	該当する乳幼児	・健康福祉会館 ・他2箇所	
	3歳児健康診査	各健診で乳幼児の健康増進、疾病の早期発見と保護者への育児支援を行いました。	該当する乳幼児	・健康福祉会館 ・鶴川分館	
	乳幼児経過観察健診	各健診で乳幼児の健康増進、疾病の早期発見と保護者への育児支援を行いました。	該当する乳幼児	健康福祉会館	
	発達健康診査				
	妊婦・乳幼児精密健康診査	各健診で乳幼児の健康増進、疾病の早期発見と保護者への育児支援を行いました。	該当する妊婦と乳幼児	契約医療機関	
	離乳食・幼児食講習会	母子の健康増進を図るために行いました。	該当する乳幼児とその保護者	健康福祉会館	
	健康教育	母子の健康増進を図るために行いました。	該当する乳幼児とその保護者	市内	
	虫歯予防教室	母子の健康増進を図るために行いました。	該当する乳幼児	健康福祉会館	
	乳幼児栄養食品支給				
	予防接種	乳幼児の疾病の予防、まん延防止のため予防接種・予防接種助成を行いました。	該当する乳幼児	・健康福祉会館 ・各市民センター	
未熟児養育医療	未熟児が満1歳児までに入院養育を必要とする場合、入院医療助成のための医療券の申請を受理し、保健所に進達しました。	2000g未満で出生した乳児等	健康福祉会館		

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

部名	事業名	事業の概要	対象	実施場所	所管課・係	
子ども生活部	子ども手当支給事業	中学校3年生修了までの児童を養育している保護者に手当を支給しました。	保護者の所得制限なし	—	子ども総務課手当・医療費助成係	
	乳幼児医療費助成事業	小学校未就学児童が健康保険で診療を受けたときの自己負担額を助成しました。				
	義務教育就学児医療費助成事業	小学生、中学生が健康保険で診療を受けたときの自己負担額の一部を助成しました。	保護者の所得が限度額未満の者	—		
	小児慢性疾患の医療費助成	18歳未満の小児慢性対象疾患の健康保険診療による自己負担額の一部を助成しました。	—	—		
	幼児教育奨励事業	4歳児～5歳児で無認可の幼児施設に通う幼児や在宅幼児の保護者に手当を支給しました。	—	—		
	幼稚園就園奨励事業	私立幼稚園に幼児を通園させている保護者に補助金を交付しました。	—	—		
	私立幼稚園等園児保護者補助事業					
	私立幼稚園等入園促進事業	私立幼稚園に入園した幼児の保護者に補助金を交付しました。	—	—		
	大気汚染医療費の助成	18歳未満で慢性気管支炎・気管支ぜん息・ぜん息性気管支炎・肺炎腫およびこれらの続発症の治療に対し健康保険が適用された後の自己負担を助成しました。なお、気管支ぜん息については全年齢を対象としています。	・東京都内に引き続き1年以上(3歳児未満は6ヶ月以上)住所を有する方 ・申請日以降喫煙しない方 ・健康保険に加入されている方	—		
	ワクワクぼっぴんランド	親子体操・手遊び・工作・お話など、子育て支援センターと共催で実施しました。	就学前児童と保護者	子どもセンター つるっこ		児童青少年課子どもセンターつるっこ
	ヤンチャッチャ	体操・工作・リトミック等を通して興味や関心を広げながら、自分の力を発揮し、子ども同士の関わりを楽しむ経験を積ませることをねらいとした、子育て支援事業。(全35回実施)	2歳児からの就学前児童と保護者	子どもセンターばあん		児童青少年課子どもセンターばあん
	赤ちゃんタイム	0歳児を持つ親同士の情報交換や仲間作りを通して、子育ての尊さや楽しさを感じてもらうことをねらいとした子育て支援事業。親子のスキンシップを中心に据えた親子遊びを全11回実施しました。	0歳児と保護者			
	夏事業 Wai・Wai キッズ	普段センター内で行っている乳幼児事業を、子どもセンターのない地域で行う出張子育て支援事業を実施しました。	就学前児童とその保護者	小山市民センター		児童青少年課子どもセンターばお
	チビッコあそび隊 in 忠生	子どもセンターがない地域に子どもセンターの遊びを紹介する出張事業を実施しました。(全8回実施)	就学前児童とその保護者	忠生市民センター		児童青少年課南大谷子どもクラブ
一時保育事業	保護者が様々な理由で、一時的に保育することが困難なときに有料で保育を行い、就労支援や子育て中のリフレッシュを図る事業を実施しました。	就学前児童	市内保育所等	子育て支援課		
生涯学習部	中学生をもつ保護者のための講座	思春期を向かえた子どもたちは精神的にも不安定な時期を過ごしている。思春期における心の問題や行動について考える講座を全2回実施しました。	中学生前後の子をもつ保護者	まちだ中央公民館	公民館(現在:生涯学習センター)	
	「あかちゃんとたのしみ絵本」事業	乳幼児におすすめの本えおピックアップしたパンフレットを作成し、各図書館や母子バックに入れて配布しました。	—	—	図書館	

◆Ⅱ-1-個別目標3 男女共同の子育てを進める

【 個別目標の解説 】

- ① 夫婦が協力して子育てできるようにします。

母親学級・両親学級

妊婦とその夫を対象に、妊娠中の健康管理・栄養・お産の正しい知識・産後の注意・新生児の保育指導を行い、母子の健康増進を図りました（12回実施）。また、「初めての妊娠、出産」をテーマに医師が講演会を実施しました（4回実施）。

担当:いきいき健康部健康課

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

部名	事業名	事業の概要	対象	実施場所	所管課・係
市民部	夏休み父子木工教室 「お父さんと作ってみよう！木のおもちゃ」	父親の育児参加の促進を目的に、木のおもちゃづくり、的あて遊びや昔遊びなど、父親と子どもと一緒に楽しむ遊びを実施しました。	・就学前の児童と父親のペア ・小学1年生～小学3年生の児童と父親のペア	市民フォーラム ・多目的実習室 ・活動室	市民部市民協働推進課 男女平等推進センター
	「これならできる！！保育園の給食をつくらう」	保育所の献立の一例を実際に調理します。子育て支援を行うと同時に、男女共同の子育ての意識普及啓発を行いました。	就学前児童がいる家族	市民フォーラム 調理室	
	子育てフォーラム 「保育園との上手な付き合い方」	保育、子育てに携わる方から話を聴き、参加者の疑問や不安を互いに語り合ってもらいました。	子育てに関心のある方	市民フォーラム 和室	
	「パパ☆クッキング」	簡単な乳幼児食の一例を実際に調理し、その過程で父親同士の交流を図りました。	就学前または、小学生の児童がいる父親	市民フォーラム 調理室	

◆Ⅱ-1-個別目標4 親の悩みを支える

【 個別目標の解説 】

- ① 子育て中の親が悩みや不安について身近な場所で気軽に相談できるようにします。

【 指 標 】

指標名	単位	2009年度 実績値	2010年度 実績値	2011年度 実績値	指標数値出典 (所管課)	備考
育児について気軽に相談できる相手が いなかったと答えた保護者の割合	%	2.0	1.8	2.0	市民意識調査 (政策経営部企画政策課)	—

地域子育てセンター

子ども家庭支援センターのランチ（枝）として市立の7保育所が、地域での育児相談を行いました。また、子育てサークルの場を提供したり、サークル活動に保育士を派遣する等の専門知識を活かした事業を行いました。

- ・原町田地域：市立町田保育園
- ・南 地域：市立金森保育園
- ・本町田地域：市立本町田保育園
- ・鶴川地域：市立大蔵保育園
- ・森野地域：市立森野保育園
- ・忠生地域：市立山崎保育園
- ・塚 地域：市立こうさぎ保育園

担当：子ども生活部子育て支援課

子育て支援ネットワーク連絡会

児童虐待の発生予防から早期発見・対応、アフターケアに至るまでの総合的な支援を行うため福祉・医療・保健・教育・警察等の関係機関で構成されているネットワークです。関係機関と地域が一体となって、要保護児童等を支援するために、情報交換・支援の具体策の検討などを地域ごとに定期的に行いました。

担当：子ども生活部子育て支援課(子ども家庭支援センター)

健康課の相談事業（乳幼児・母性相談、来所相談、電話相談）

乳幼児とその保護者を対象に、発育・発達、育児方法や食事、虫歯予防、家族の健康について、関係する専門家による相談を行いました。

担当：いきいき健康部健康課

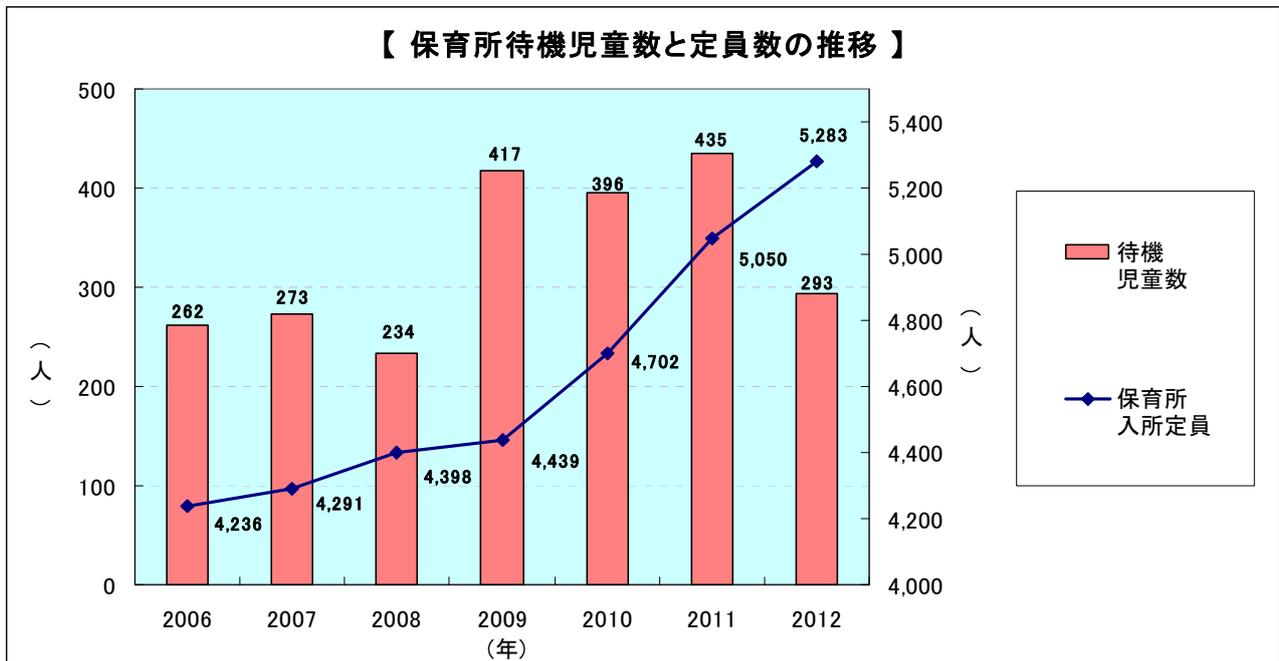
♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

部名	事業名	事業の概要	対象	実施場所	所管課・係
子ども生活部	子育てママのしゃべり場	地域の中で関わる場を持たず、育児不安やストレスを抱えて悩んでいる人に、共感・共有の場を提供することで、様々な子育て支援につながり、虐待予防および育児不安の解消を図りました。	子育て中の母親	子ども家庭支援センター等	子育て支援課子ども家庭支援センター
	啓発冊子・ひとりで悩んでいませんか？	児童虐待の防止・予防のための啓発冊子を作成しました。	—	—	

重点目標2 親が働くことを支える

【重点目標の解説】

- ① 子育て中の親が就労と子育てを両立できるようにします。



各年4月現在

保育所の入所待機児の解消

町田市では、保育所待機児の解消が大きな課題となっています。待機児童数は、上の表のように推移しています。町田市では、保育所（20年間期間限定認可保育所）の新規開設、既存の保育所の定員増などの施策を進めていますが、なお、待機児童の解消には至っていません。

担当：子ども生活部子育て支援課

◆Ⅱ-2-個別目標1 保育支援

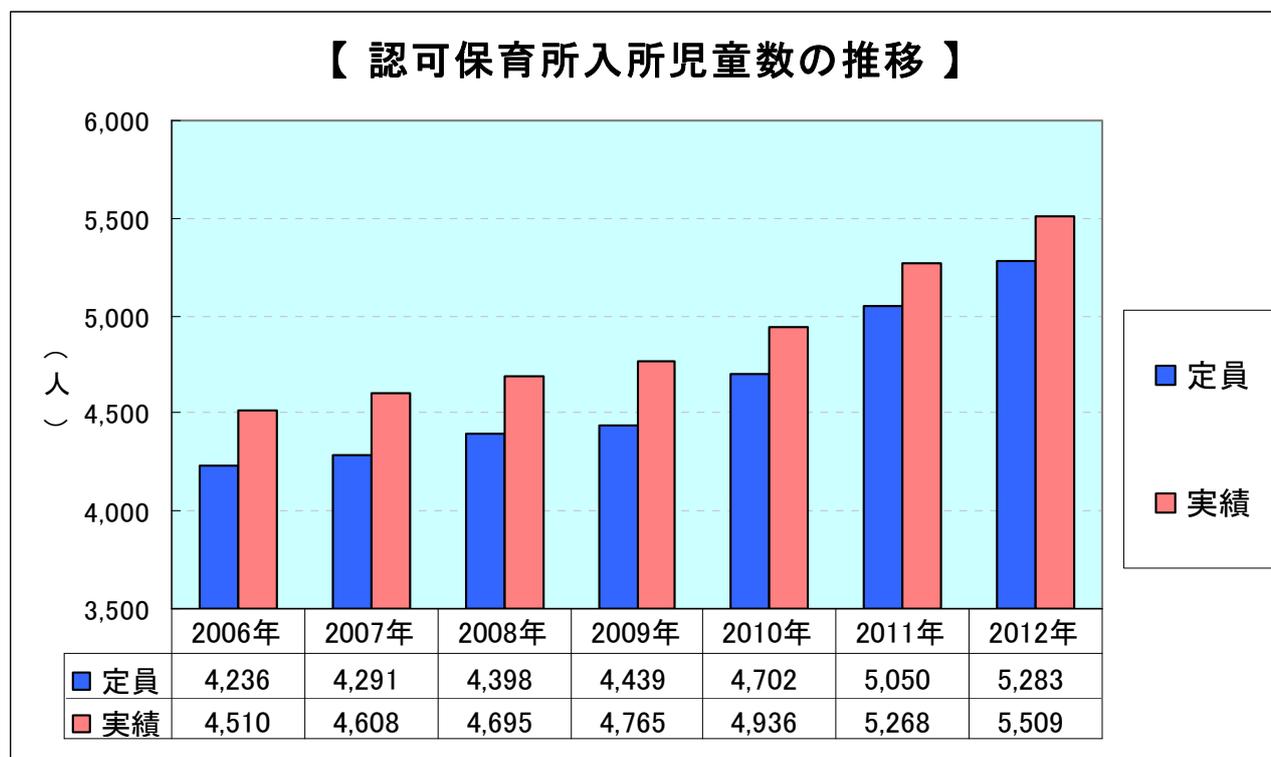
【個別目標の解説】

- ① 子育て中の親が子どもを預ける様々な保育サービスを選択することができ、安心して働くことができるようにします。

【指標】

指標名	単位	2009年度 実績値	2010年度 実績値	2011年度 実績値	指標数値出典 (所管課)	備考
保育所待機児童数	人	417	396	435	子ども生活部 子育て支援課	各年度4月現在。 ※中期経営計画指標
保育所定員数	人	4,439	4,702	5,050		
認可外保育施設入所児童数	人	310	334	369	子ども生活部 子育て支援課	※中期経営計画指標
学童保育クラブが設置されている 小学校区の割合	箇所	41/41	42/42	43/43	子ども生活部 児童青少年課	※中期経営計画指標
大規模学童保育クラブ数	施設	5	4	0		
預かり保育実施幼稚園数	園	8	8	11		
ファミリー・サポート・センター利用件数	件	14,281	14,790	12,543	子ども生活部 子育て支援課	—

【認可保育所在籍児童数の推移】



各年4月1日現在

【 認可保育所在籍児童数の推移 】（各年度4月1日現在） （単位：人／％）

区分	年度	定員	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計	入園割合
法人立	2006	3,471	307	548	658	719	756	739	3,727	107.4%
	2007	3,526	331	555	667	734	750	771	3,808	108.0%
	2008	3,633	353	566	690	755	774	765	3,903	107.4%
	2009	3,674	366	585	692	753	787	794	3,977	108.2%
	2010	3,927	394	628	759	781	785	800	4,147	105.6%
	2011	4,245	406	683	836	883	838	818	4,464	105.2%
	2012	4,618	443	762	931	904	944	866	4,850	105.0%
公立	2006	765	29	87	120	164	186	197	783	102.4%
	2007	765	33	91	124	166	192	194	800	104.6%
	2008	765	33	91	122	159	187	200	792	103.5%
	2009	765	33	88	119	164	189	195	788	103.0%
	2010	775	35	92	124	162	180	196	789	101.8%
	2011	805	39	100	138	170	179	178	804	99.9%
	2012	665(※)	33	73	103	134	159	157	659	99.1%
合計	2006	4,236	336	635	778	883	942	936	4,510	106.5%
	2007	4,291	364	646	791	900	942	965	4,608	107.4%
	2008	4,398	386	657	812	914	961	965	4,695	106.8%
	2009	4,439	399	673	811	917	976	989	4,765	107.3%
	2010	4,702	429	720	883	943	965	996	4,936	105.0%
	2011	5,050	445	783	974	1,053	1,017	996	5,268	104.3%
	2012	5,283	476	835	1,034	1,038	1,103	1,023	5,509	104.3%

※ 2012年度に公立保育所2園が民営化されたため、公立保育所の定員数が減少しています。

一時保育

冠婚葬祭等の急な用事、保護者・家族の入院・通院・介護等で家庭での保育ができない、リフレッシュに時間がほしい等の理由により、一時的に保育することが困難な時に児童を保育所で預かりました（事前に利用登録が必要）。

担当:子ども生活部子育て支援課

病児・病後児保育

■病児保育

病気にかかっている児童を医師の指示に基づいて医療機関に併設した専用の施設で一時預かり保育を行いました（事前に利用登録が必要）。

■病後児保育

「病気回復期」にあり、医療機関による治療の必要はないが、安静の必要がある児童を保育所に併設した専用施設で一時預かり保育を行いました（事前に利用登録が必要）。

担当:子ども生活部子育て支援課

休日保育

年末・年始（12月29日～1月3日）を除く休日や祝日に仕事や介（看）護、または冠婚葬祭などの社会的理由で子どもの保育ができない場合に利用できるもの（事前に利用登録が必要）で、わかば保育園で実施しました。

担当:子ども生活部子育て支援課

年末保育

12月29日、30日に保護者が就労のため、家庭で子どもを保育できない場合に利用できるもの（事前に利用申請が必要）で、市立保育所2園で実施しました。

担当:子ども生活部子育て支援課

学童保育クラブ

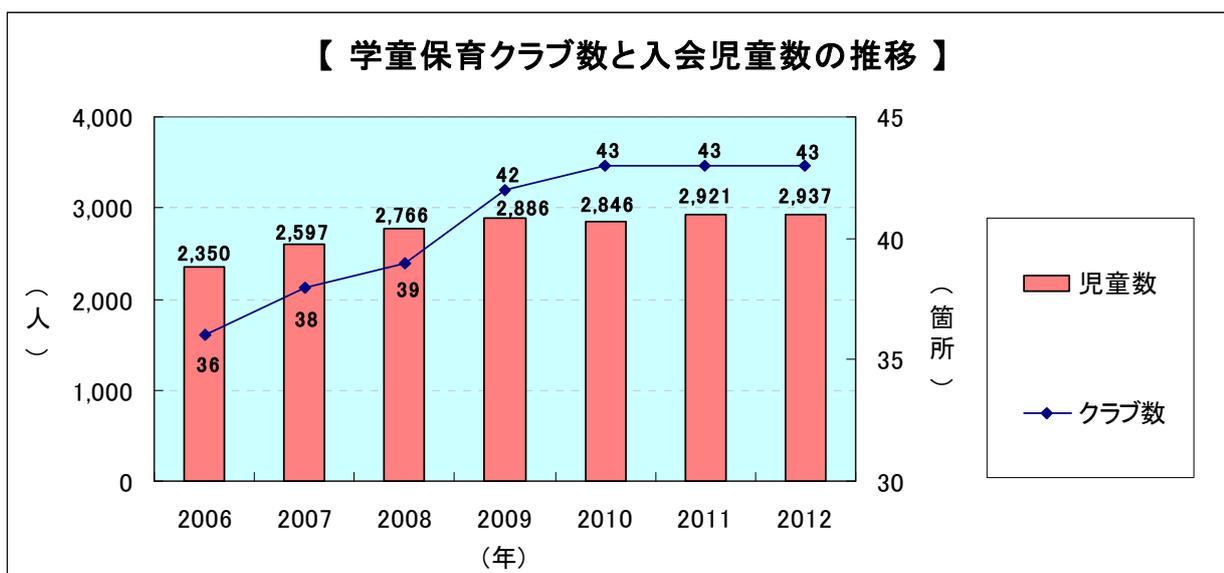
放課後帰宅しても保護者が仕事などで子どもの世話をする人がいない家庭で、市内に在住する小学校1年生から3年生（ただし、障がいのある児童について、市長が特に必要と認めたときは6年生）までの児童を預かり、保育しました。

担当:子ども生活部児童青少年課

【学童保育クラブ入会児童数の推移】（各年度4月1日現在）（単位：箇所／人）

年 度	公立		社会福祉協議会		委託		合計	
	クラブ数	児童数	クラブ数	児童数	クラブ数	児童数	クラブ数	児童数
2006	7	435	13	785	16	1,130	36	2,350
2007	7	478	13	840	18	1,279	38	2,597
2008	6	446	13	886	20	1,434	39	2,766
2009	6	424	12	909	24	1,553	42	2,886
2010	6	373	13	902	24	1,571	43	2,846
2011	6	385	13	920	24	1,616	43	2,921
2012	6	389	13	903	24	1,645	43	2,937

【学童保育クラブ数と入会児童数の推移】



ファミリー・サポート・センター事業

子育てを支援するための「育児援助を受けたい者（依頼会員）」と「育児援助を行いたい者（援助会員）」との相互援助活動を行う会員組織です。

保育所・幼稚園の開始前または終了後の保育、保育所・幼稚園等への送迎、その他、子育てのための必要な援助（保育）等の補助的、臨時的な活動を行いました。

担当：子ども生活部子育て支援課

◆Ⅱ-2-個別目標2 サービスの質の向上と効果的・効率的な提供の充実

【個別目標の解説】

- ① 保育施設がサービスの質の向上と外部評価の受診を行い、その結果が利用者に提供されるようにします。

重点目標3 きめ細やかな支援が必要な家族を支える

【重点目標の解説】

- ① きめ細やかな支援が必要な子どもと家族が必要な支援を必要な時に受けることができるようにします。

◆Ⅱ-3-個別目標1 障がいのある子どもと家族への支援

【個別目標の解説】

- ① 障がいのある子どもと家族がいろいろな生活の場面で必要な支援を受けることができるようにします。

【指標】

指標名	単位	2009年度 実績値	2010年度 実績値	2011年度 実績値	指標数値出典 (所管課)	備考
障がい児通園促進事業の対象となった幼稚園児数(のべ)	人	1,165	1,371	1,444	子ども生活部 子育て支援課	—

子ども発達センターすみれ教室

すみれ教室は、発達に遅れや心配のある就学前の乳幼児に対して、専門的な指導により、身体的・精神的な発達を助長し、基本的な生活習慣、社会への適応を図ることと、その保護者を支援することを目的としています。

その沿革は、1971年8月、心や身体にハンディキャップのある乳幼児の保護者から「市内に心身障がい児のための生活並びに訓練の場を作って欲しい」との切実な願いがきっかけとなって、同年12月「町田市心身障害児を守る会（すみれ会）」の結成と同時に、市から福祉会館の一室と機械器具の提供を受けて保護者運営の教室「すみれ教室」としてスタートし、障がいのある子どもを持つ親同士の連帯をつくる場としての役割をも果たしてきました。

その後、すみれ会から「未就学児の唯一の施設であるため一層の発展を」との要望を受け、1972年8月、旧さるびあ図書館を改造、移転。1972年10月に町田市療育機関として位置づけられ、職員と施設の充実を図り、1983年4月の「すみれ会館」の完成により全面移転し、親子通園施設として今日に至っています。

この約40年の間に、通園児の増加・低年齢化・幼稚園や保育所の受け入れの拡大、相談部門のニーズの増加などに対し、教室の規模は大きくなりサービス内容も多様になってきました。2004年4月には、事業の一部を定員40名の措置通園部門（児童福祉法第7条に定める知的障害児通園施設）として開設し、施設の名称も「町田市子ども発達センターすみれ教室」と改めました。

障害者自立支援法の施行に伴い、2006年10月に児童福祉法が改正され、措置制度から契約方式に変わりました。これに伴い、当センターの措置通園部門も認可通園部門へ呼称を変更しました。

◇所在地 町田市中町 2-13-14

担当：子ども生活部すみれ教室

障がい児の幼稚園通園の促進

医療機関等で特別な配慮・個別的な配慮を必要とするとの診断を受けた児童を受け入れている市内の私立幼稚園に対し、受入の人数に応じて経費の一部を市が負担しました。

担当：子ども生活部子育て支援課

【 すみれ教室通園児童数の推移 】

（単位：人）

年度	親子通園部門	相談部門	認可通園部門
2006	119	491	40
2007	106	523	40
2008	121	541	40
2009	142	543	40
2010	133	582	40
2011	129	674	40

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

部名	事業名	事業の概要	対象	実施場所	所管課・係
地域福祉部	障害児福祉手当	20歳未満で身体または精神に重度の障がいがあるため、日常生活に常時介護が必要な人に支給しました。	20歳未満で身体または精神に重度の障がいのある方	—	障がい福祉課障がい総務係
	特別児童扶養手当	日常生活に著しい制限を受ける20歳未満の障がい児を養育している人に支給しました。	20歳未満で、日常生活に著しい制限を受ける障がい児を養育している方	—	
	重度心身障害者手当	常時複雑な介護を必要とする障がい児、障がい者に対し、支給しました。	常時複雑な介護を必要とする障がい児、障がい者	—	
	障がい児スポーツ教室	障がいのある小学生以上の方を対象に、年間36回程度スポーツ教室を開催しました。	小学生以上の障がいのある方	・サン町田旭体育館 ・すみれ教室	
	障がい児者水泳教室	障がいのある小学生以上の方を対象に、夏休みの期間に水泳教室を開催しました。	小学生以上の障がいのある方	・金井小学校 ・すみれ教室	
	障がい者スポーツ大会	11月3日に、市内の障がいのある方を対象に、スポーツ大会を開催しました。	障がいのある方	町田市立総合体育館	
子ども生活部	自立支援医療(育成医療)	18歳未満の肢体不自由等の機能障がいのある方で、手術等により障がいの改善が見込まれる場合の健康保険で診療を受けたときの自己負担額の一部を助成しました。	—	—	子ども総務課手当・医療費助成係
	ひとり親家庭等医療費助成制度	平成5年4月2日以降に生まれた(一定の障がいのある場合は20歳の誕生日の前日までの)児童を養育しているひとり親家庭、または父か母が重度の障がいを有する家庭に対して、保険の自己負担分の医療費を助成しました。	・生活保護を受けていないこと ・所得限度額をこえていないこと	—	
	児童育成手当(障がい手当)	脳性麻痺/進行性筋萎縮症、最重度～中度の知的障がい、2級以上の身体障がい等の障がいをもち20歳未満の子どもを養育している人に支給しました。	・児童が施設に入所していないこと ・所得限度額を超えていないこと	—	
	児童育成手当(育成手当)	平成5年4月2日以降に生まれた児童を養育しているひとり親家庭、または父か母が重度の障がいを有する家庭に対して、手当を支給しました。	・公的年金が受けていないこと ・児童が施設に入所していないこと ・所得限度額を超えていないこと	—	
	児童扶養手当	平成5年4月2日以降に生まれた(一定の障がいのある場合は20歳の誕生日の前日の属する月までの)児童を養育しているひとり親家庭に対して、手当を支給しました。	・公的年金が受けていないこと ・児童が施設に入所していないこと ・所得限度額を超えていないこと	—	すみれ教室
	療育指導	心身の発達に遅れのある子および心身の発達に心配のある子とその保護者に対して、食事・着替え・睡眠・排泄などの身辺自立に必要な相談・指導および訓練などの支援を行いました。	0歳児～6歳児までの就学前児童	すみれ教室	
	保護者研修	現在利用している子の保護者を対象に子どもの発達に関することから就学後のことを学び考えるための研修を実施しました。	保護者		
療育セミナー	幼稚園、保育所、学童保育クラブなどの機関の職員に、障がいに対する理解や援助の方法を学ぶための講演会を開催しました。	幼稚園・保育所・学童保育クラブなどの機関の職員	—	—	

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

部名	事業名	事業の概要	対象	実施場所	所管課・係
子ども生活部	出張相談	公立保育所に直接出向き、発達に心配のある子どもの様子を捉え、対応等助言を行いました。	保育所	保育所	すみれ教室
	出張相談	発達に心配のあるケースへの対応等について、児童精神科医師を助言者として市内5地域においてケース検討会を行いました。	・保育所 ・幼稚園	すみれ教室	
	療育体験会	公立保育所の職員を対象に一日療育体験を行いました。	保育所の職員		
学校教育部	特別支援教育	新しい障がい教育－特別支援教育が2007年4月からスタートし、特別な支援を要する児童生徒に対するサポート体制として巡回指導員を派遣しました。また、医師や心理療法士等の資格を有する方で構成されている特別支援教育専門家チームによる学校訪問を実施し、現場での問題に対応しました。	市立 ・小学校 ・中学校	市内 ・小学校 ・中学校	指導課教育センター係
生涯学習部	点字・音訳テープ	視覚に障がいのある子どもの読書のため、または視覚障がいの親が子どもに読み聞かせができるようにするため、ご希望の本を点訳、音訳し、提供しました。2011年度実績：絵本に点字や毛糸を貼って、触って読める絵本を11冊貸出しました。	町田市 ・在住 ・在学 ・在勤	中央図書館	図書館

◆Ⅱ-3-個別目標2 ひとり親家庭への支援

【個別目標の解説】

- ① ひとり親家族が自立し、経済的な不安を持つことなく生活や子育てすることができるようにします。

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

部名	事業名	事業の概要	対象	実施場所	所管課・係
子ども生活部	ひとり親家庭等医療費助成制度	平成5年4月2日以降に生まれた(一定の障がいのある場合は20歳の誕生日の前日までの)児童を養育しているひとり親家庭、または父か母が重度の障がいを有する家庭に対して、保険の自己負担分の医療費を助成しました。	・生活保護を受けていないこと ・所得限度額をこえていないこと	—	子ども総務課手当・医療費助成係
	児童育成手当(育成手当)	平成5年4月2日以降に生まれた児童を養育しているひとり親家庭、または父か母が重度の障がいを有する家庭に対して、手当を支給しました。	・児童が施設に入所していないこと ・所得限度額を超えていないこと	—	
	児童扶養手当	平成5年4月2日以降に生まれた(一定の障がいのある場合は20歳の誕生日の前日の属する月までの)児童を養育しているひとり親家庭に対して、手当を支給しました。	・公的年金が受けていないこと ・児童が施設に入所していないこと ・所得限度額を超えていないこと	—	

◆Ⅱ-3-個別目標3 外国籍家族への支援

【個別目標の解説】

- ① 外国籍家族が言語・文化の違いやコミュニケーション不足についての不安を持つことなく生活や子育てをすることができるようにします。

◆Ⅱ-3-個別目標4 被虐待児(DV家族児童を含む)と家族への支援

【個別目標の解説】

- ① 虐待を受けた子どもと子どもを虐待した家族が立ち直るための支援を受けることができるようにします。

子ども家庭支援センター

子どもや家庭の問題に総合的に対応する相談機関です。0歳から18歳未満のお子さんとその家庭のあらゆる相談に応じます。児童虐待をはじめとする子どもを取り巻く様々な問題に対処するため、関係機関や地域と緊密な連携をとりながら子育てを支援しています。ショートステイ、トワイライトステイ、育児支援ヘルパー派遣等のサービスを行っています。

担当：子ども生活部子育て支援課(子ども家庭支援センター)

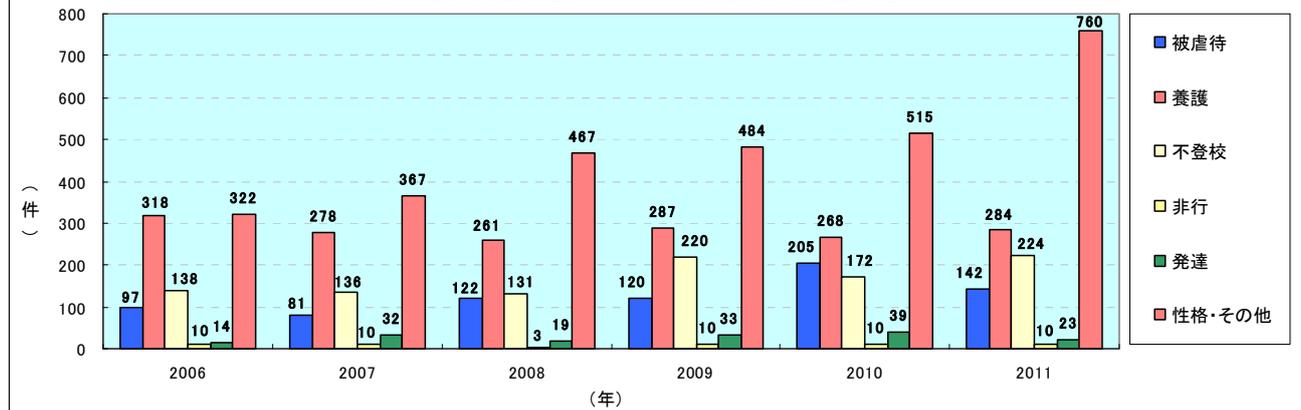
【子ども家庭支援センターの相談件数の推移】

(単位：件)

年度	被虐待	養護	不登校	非行	発達	性格その他	計
2006	97	318	138	10	14	322	899
2007	81	278	136	10	32	367	904
2008	122	261	131	3	19	467	1,003
2009	120	287	220	10	33	484	1,154
2010	205	268	172	10	39	515	1,209
2011	142	284	224	10	23	760	1,443

※相談件数には電話相談を含みます。

【子ども家庭支援センターの相談件数の推移】



◎基本目標Ⅲ 子どもが地域の中で大切にされている

■重点目標1 人と人が関わいつながる場をつくる(家庭・施設・学校・地域・行政の協働)

【重点目標の解説】

- ① 子育てをしている親と地域の人が、子どもは地域の支えあいの中で育つということを理解できるようにします。
- ② 子どもと子育てをしている家族が地域の人と絆を深めることができるようにします。

◆Ⅲ-1-個別目標1 地域の人材育成と人材活用

【個別目標の解説】

- ① 青少年活動を指導することのできる大人と子どもが地域で育ち、地域で青少年を対象とした活動が活発に行われるようにします。

【指標】

指標名	単位	2009年度実績値	2010年度実績値	2011年度実績値	指標数値出典(所管課)	備考
子どもサークルリーダー研修会参加者数(のべ人数)	人	205	—	—	子ども生活部 児童青少年課	—

アダプト・ア・ロード事業

市が管理する道路施設等の公有財産を、市民団体の皆さんの手でより良い空間にしようとするものです。市と管理協定を結んだ地域団体は、ボランティアによる管理活動を行っています。参加対象を限定しているものではありませんが、この事業において、市内の中高生が道路用地を利用して花壇を手がけています。

担当：建設部道路管理課市民協働担当

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

部名	事業名	事業の概要	対象	実施場所	所管課・係
市民部	おはなし会「おはなしほっけ」	和室2部屋(20畳)を利用して、ボランティアによるおはなし会を実施しました。行政が場所の提供とPRを担当し、地域のボランティアの方が絵本の読み聞かせやわらべ歌、手遊びのプログラムを提供しました。	就学前児童とその保護者	玉川学園文化センター	市民課玉川学園文化センター
子ども生活部	夏まつり	子どもクラブ応援団、南大谷団地自治会地域団体との共催行事で誰でも気軽に参加できるものです。子ども委員会が、企画、実行し、遊びのコーナーやおぼけやしきなどを設置しました。	子ども～大人	南大谷子どもクラブ	児童青少年課南大谷子どもクラブ
都市づくり部	かしの木山自然公園 夏休み子ども自然教室	自然とふれあい、自然を学ぶ、夏の楽しい一日教室(全4回)を実施しました。	小学3年生～中学生	かしの木山自然公園	公園緑地課公園管理係
生涯学習部	まちだ市民大学講座事業 人間関係学講座	「人間関係学」講座第2回で「親・社会から見捨てられた子どもたち—絶望の中から仲間とともに生きる意味を見つける—」をテーマに、自らも社会的養護を受けていた経験をもつ、特定非営利活動法人社会的養護の当事者参加推進団体日向ぼっこ理事長 当事者相談員の渡井 さゆり氏による講義を行いました。	町田市 ・在住 ・在学 ・在勤	森野分庁舎	生涯学習課市民大学推進係(現在:生涯学習センター)
	まちだ市民大学講座事業 人間関係学講座	「人間関係学」講座第11回で「本当の人間関係とは?—子育て—ではなく子どもと生きる—」をテーマに、フリーライターで教育ジャーナリストの青木悦氏による講義を行いました。			

◆Ⅲ-1-個別目標2 地元事業所・商店の関わり

【個別目標の解説】

- ① 子どもや親が地元事業所・商店会・商店を利用した子育て支援を受けることができるようにします。

子どもセンターばあんの「子どもまつり」

子どもセンターばあんでは、子どもまつりとして「たんじょう祭」「夏まつり」「冬まつり」（3大祭りと呼んでいます）を毎年行っています。このおまつりは、子ども委員会、運営委員会をはじめ、郵便局・民生委員・「ばあんの会」等地域の方々との協働による、地域のイベントとして実施しました。

担当：子ども生活部児童青少年課(子どもセンターばあん)

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

部名	事業名	事業の概要	対象	実施場所	所管課・係
子ども生活部	夏のお楽しみ工作(3Dを楽しもう)	「東急ハンス町田店」の社会貢献活動の一環として実施しました。講師をはじめ、材料も「東急ハンス町田店」が用意しました。	小学生～18歳 ※定員40名	子どもセンターばあん	児童青少年課子どもセンターばあん

◆Ⅲ-1-個別目標3 体験できる場(多様な体験ができる機会を増やす)

【個別目標の解説】

- ① 子どもが様々な体験や人との関わりから学び成長していくことができるようにします。

【指標】

指標名	単位	2009年度実績値	2010年度実績値	2011年度実績値	指標数値出典(所管課)	備考
冒険遊び場の数	箇所	6 (うち出前3)	7 (うち出前4)	6 (うち出前3)	子ども生活部 児童青少年課	※中期経営計画指標
自分の子どもが野外活動やボランティアの活動に参加した保護者の割合	%	27.3	28.4	40.0	市民意識調査 (政策経営部企画政策課)	※中期経営計画指標

国際理解教育の推進・国際交流事業

国際理解教育の推進の一方法として学校ネットワークを活用し、児童・生徒が電子メールを利用して外国人と直接触れ合い、文化や風土、教育環境の相違などを経験することにより教育活動の推進を図りました。

担当：学校教育部指導課(教育センター係)

多摩・島しょ広域連携活動助成金事業

多摩・島しょ広域連携活動助成金を活用した町田市・多摩市・稲城市の連携による事業。

■みんなで歌おう！スーパー・ウィンド・オーケストラ with ズーラシアン・プラス (実施場所ーパルテノン多摩)

本物の音に触れながら一緒に作品を創り上げることで、①本物の音楽を体験する、②異年齢他地域の児童・生徒で交流する、③みんなで協力し努力する中で作品の完成度の向上を図る、④本物の音と一緒に作品を仕上げることで、感動体験および成功体験の獲得を目指しました。練習を3回行い、本番では1,300人以上の観客の前で、歌を披露しました。

■クリスマス・ゴスペル2011 ～グローリー・ゴスペル・シンガーズ from New York～ (実施場所ー町田市民ホール)

音楽を観客として聴いて楽しむだけでなく、本物のゴスペルシンガーと共にステージに参加することにより、感性豊かで躍動感あふれる芸術性の高い音楽を体感することを目的に実施しました。3市の子ども達200人をゴスペル・コーラス隊として募集し、本番までに2回の練習を行いました。本番ではプロの歌手達と一緒に同じステージに立ち、観客の前で歌を披露しました。

担当：子ども生活部子ども総務課

「キャベたまんていとなぞを追え！三田村信行」展関連事業

展示関連事業として、主に小学生を対象に下記の事業を実施しました。

- ◇ 「来て・見て・広げよう！おはなしの世界」
- ◇ 「あつまれ！土曜おはなし会」
- ◇ 「キャベたまんていカルタをつくろう」
- ◇ 「キャベたま工作会」
- ◇ 「おはなし作りにチャレンジ！」
- ◇ 「ことばらんど劇場」

担当：生涯学習部図書館(文学館)

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

部名	事業名	事業の概要	対象	実施場所	所管課・係
子ども生活部	相原ふれあいフェスティバル	地域の恒例の祭りにばおのPRと子ども委員会の活性化を目的に、ばお駐車場にテントを張り、工作とゲームコーナーを設けました。	すべての方	子どもセンターばお	児童青少年課子どもセンターばお
	君も縄文人になろう	縄文時代にちなんだ体験学習を実施しました。	市立小学6年生	ひなた村	ひなた村
	各種チャレンジ教室	創作教室を実施しました。	小学生～高校生		
	プログラムサービス	地域の子ども会を主な対象とし、野外炊飯・工作・遊びなどを、子ども会と職員とが協力してプログラム作りを行い、実施しました。	子ども会等の団体	ひなた村 他	

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

部名	事業名	事業の概要	対象	実施場所	所管課・係
学校教育部	中学2年生の職場体験	中学2年生が事業所・団体等で連続5日間の職場体験を実施しました。	市立中学校2年生	市内および近隣市の事業所・団体	指導課管理係
	小学校音楽鑑賞教室	2005年度より実施。音楽の授業の一環として3日間6回、小学校6年生の児童を対象にブローのオーケストラの演奏を鑑賞しました。	市立小学校に通う児童	町田市民ホール	
生涯学習部	親子星空教室	金環日食など2012年に見られる天体ショーの見所についての映写と解説を行いました。	市内在住の親子	まちだ中央公民館	公民館 (現在:生涯学習センター)
	夏休み子どもフェア(おもちゃづくり)	親と子のコミュニケーションを図りました。この講座では、自ら考え、つくることで発想力を身につける事を目的に実施しました。	小学生以下の児童とその保護者		
	夏休み子どもフェア(プラネタリウム)	幼稚園・保育所・小学生の子と親を対象に、子どもが天体や科学に対する興味・関心を持つ機会となるように開催しました。	小学生以下の児童		
	春休み子どもフェア(箏1日体験講座)	日頃、触れる機会の少ない伝統的な日本楽器の音色を聴き、日本楽器に親しんでもらうことを目的に実施しました。	市内在学の小学1年生以上中学生以下の子ども		
	春休み子どもフェア(エコ・クッキング)	親と子のコミュニケーションを図りました。自ら考え、つくることで発想力を身につける事を目的に実施しました。	市内在学の小学4年生以上中学生以下の子どもとその保護者		
	春休み子どもフェア(春休み子どもコンサート)	日頃、音楽に馴染みのない方々に楽しみ方を学んでいただき、音楽をより身近に感じてもらうことを目的に実施しました。	市内在学の高校生以下の子ども(保護者同伴可能)		
	こどもえいが会	本に親しみを持ってもらうため、映画を上映し、その関連する本を紹介しました。	幼児および小学生	・中央図書館 ・木曾山崎図書館 ・塚図書館	図書館
	にんきものをさがせ	こどものひろばの書架に、本に出てくるキャラクターに関する問題を設置し、答えを本から探し出すウォークラリークイズ。年に3回、夏休み・春休み・冬休みにあわせて実施しました。	幼児および小学生	中央図書館	
	ブックトーク	それぞれ設定したテーマにあわせて、絵本・物語・知識の本を紹介しました。	幼児および小学生	・中央図書館 ・金森図書館 ・木曾山崎図書館	
	1日図書館員	夏休み期間中に、希望者に図書館業務を1日体験してもらいました。本の配架、カウンター業務、本の装備などを体験しました。	・中学生 ・高校生	中央図書館	
図書館入門講座/バックヤードツアー	普段公開していない書庫や選定室などを案内し、図書館に興味を持って親しんでもらいました。	小学4年生～中学生(親子可)			
第1回まちだとしよかん子どもまつりーほんはともだちー	「まちだとしよかん子どもまつり」を4日間にわたり開催しました。おはなし会や朗読会、児童向け講演会等9つのイベントを中央図書館で行いました。	幼児および小学生			
子ども俳句教室 春・秋	日本の伝統文化である俳句に親しんでもらいながら5・7・5のことは遊びを楽しみました。	小学生	【春】 ・鶴間公園 ・高蔵寺 ・小山田緑地 【秋】 ・寺家ふるさと村 ・小山田緑地 ・かしの木山自然公園	図書館(文学館)	
百人一首カルタ会	日本の伝統かるた、百人一首を楽しみながら日本の古典文学である和歌に親しみ学ぶ機会としました。	・小学生 ・中学生	文学館		

◆Ⅲ-1-個別目標4 交流できる場(子どもや子育てをしている人がふれあい情報交換できる場を増やす)

【個別目標の解説】

- ① 子どもや子どもを持つ親が身近な場所で様々な人と気軽に交流することができるようにします。
- ② 子どもが身近な場所で気兼ねなく時間を過ごすことができるようにします。

【指標】

指標名	単位	2009年度 実績値	2010年度 実績値	2011年度 実績値	指標数値出典 (所管課)	備考
子どもセンターの施設数	館	3	3	3	子ども生活部 児童青少年課	※中期経営計画指標
子どもセンター・子どもクラブの 1日平均来館者数	人	805	861	839	子ども生活部 児童青少年課	子どもセンターばあん、子どもセンターつるっこ、子どもセンターぱお、南大谷子どもクラブ、玉川学園ころころ児童館の5館の合計を開館日数で割ったもの
地域子ども教室助成団体数	団体	10	11	13	子ども生活部 児童青少年課	—

子どもセンター・子どもクラブ

「子どもの成長・発達を促す遊びの拠点」と「核家族化・少子化が進むなかでの子育て支援」を理念として、1999年5月子どもセンター1号館「ばあん」がオープン。2000年1月に「南大谷子どもクラブ」、2003年4月に「玉川学園子どもクラブころころ児童館」、2005年4月子どもセンター2号館「つるっこ」、2009年4月子どもセンター3号館「ぱお」がオープンしました。乳幼児から高校生までが集える場として、来館者は「けがと弁当は自分持ち」の精神で、自分の責任で利用しています。市内に5館を目標に子どもセンターの整備を進めており、現在は忠生地区の子どもセンターの整備について進めています。

担当：子ども生活部児童青少年課

地域子ども教室

国（文部科学省）が、地域の「子どもの居場所」づくりのために2004年より2006年度まで実施し、2007年度からは市が助成している事業です。学校の校庭や教室を使い、地域の方がスタッフとなって、各地域の教室で様々なプログラムを行いました。

担当：子ども生活部児童青少年課

冒険遊び場への補助

冒険遊び場活動を行う団体に補助金を交付し、その活動を支援しました。2011年度は、「子ども広場 あそべこどもたち」、「野津田・雑木林の会 きつねはらっぱ冒険遊び」、「相原冒険遊びの会」の3団体に補助金を交付しました。

【用語解説：冒険遊び場】

地域の人たちを中心に運営されている子どもたちの遊びの拠点。全国で200ヶ所以上開催されています。

担当：子ども生活部児童青少年課

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

部名	事業名	事業の概要	対象	実施場所	所管課・係
子ども生活部	子どもフェスティバル	町田市教育委員会が後援となり、地域の団体によるイベント。つるっこ子ども委員会が司会進行を行い、ステージでは近隣の中学校の吹奏楽部の演奏、芝生広場では地域の方々が模擬店を行いました。	幼児～大人	町田市内・市外	児童青少年課子どもセンターつるっこ
	中高生「ばあんDEごはん」	月1回夕ご飯を作り、おしゃべりを楽しむ定例事業として2011年度からスタートしました。学校や学年の枠を越えて親睦を深め、準備から片付け、メニューの決定などを自主的に行うことにしています。(全10回実施)	中学生～18歳	子どもセンターばあん	児童青少年課子どもセンターばあん
	ばわばふたいむ	子育て支援事業として、親子で運動遊びや工作を楽しみながら交流し、利用者と気軽にコミュニケーションをとれることを目的に実施しました。(全34回)	就学前児童とその保護者	子どもセンターばお	児童青少年課子どもセンターばお
	げんきっず	乳幼児とその保護者が、ゲームや工作、全身遊び等を行いました。	就学前児童とその保護者	ひなた村	ひなた村
生涯学習部	おはなし会(乳幼児向け)	乳幼児とその保護者に本および図書館に親しみをもってもらうため、絵本、手遊び、わらべうたを行いました。	就学前児童とその保護者	・中央図書館 ・さるびあ図書館 ・鶴川図書館 ・金森図書館 ・木曾山崎図書館	図書館

◆Ⅲ-1-個別目標5 子どもセンター・地域子育てセンターを中心とした地域づくり

【個別目標の解説】

- ① 子どもセンターが地域の子どもの様々な活動の中心として動くことができるようにします。

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

部名	事業名	事業の概要	対象	実施場所	所管課・係
子ども生活部	お話し会「お・は・な・し・はじまるよ」	ボランティアの方々による、絵本、紙芝居、パネルシアター、手遊び等のお話し会を実施しました。 ○子どもと本の世界を結ぶ ○親子の楽しい時間の共有 ○図書館の紹介 ○子育て中の親を地域でサポートを「活動目標」として活動 (全18回)	保護者同伴の就学前児童	子どもセンターばあん	児童青少年課子どもセンターばあん
	おたのしみ de ショー	町田奇術協会による手品ショーと南大谷駐在所のお巡りさんによるお話。子ども委員会が中心となって地域の方と楽しみました。	すべての方	南大谷子どもクラブ	児童青少年課南大谷子どもクラブ

■重点目標2 一人ひとりに情報が確実に届く

【重点目標の解説】

- ① 子どもと子育て中の親が、必要とする時に必要な情報を得ることができるようにします。

◆Ⅲ-2-個別目標1 子どもと親への情報を確保する

【個別目標の解説】

- ① 子どもと子育て中の親が必要とする時に必要な情報を得ることができるようにします。

【指標】

指標名	単位	2009年度実績値	2010年度実績値	2011年度実績値	指標数値出典(所管課)	備考
子育てひろばカレンダーの配布箇所数	箇所	151	152	153	子ども生活部 子育て支援課	—

子育てひろばカレンダー

「子育てひろばカレンダー」は、各保育所のいろいろなイベント情報等を市内5地域（南、町田、鶴川、塚、忠生）に分けて毎月紹介している情報紙です。掲載している保育所や各公共施設等で配布しています。また、町田市公式ホームページの「子育てひろばカレンダー」（下記URL）からも閲覧できます。

http://www.city.machida.tokyo.jp/kodomo/sodan/hiroba_cal.html

担当:子ども生活部子育て支援課

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

部名	事業名	事業の概要	対象	実施場所	所管課・係
市民部	ママ向けお天気教室 「さいえんすママカフェ」	子ども同伴で参加できる事業を開催することで、子育て中の母親に消費生活センターの周知を行いました。また、内容的には、「天気」という身近な現象を通じて自然科学に親しんでいただき、合理的思考を身に付ける一助としました。	主に就学前児童の母親	町田市民フォーラム	市民協働推進課消費生活センター

町田市公式ホームページ・キッズページ

町田市の面積、人口、歴史、市役所の仕事、遊び場・学び場、イベント情報、相談コーナーを紹介する子ども向けのホームページです（URLは下記）。

<http://www.city.machida.tokyo.jp/kids/index.html>

担当:子ども生活部子ども総務課

子育て情報誌「のびっこ」

町田市の幼稚園・保育所、保健事業、手当・医療費助成制度、相談窓口、病院、公共施設などの子育て情報をまとめた冊子を作成し、「こんにちは赤ちゃん訪問事業」の訪問先や3・4ヶ月健康診査の時に健康課を通して配布しました。また、希望者に無償配布を行いました。

担当:子ども生活部子育て支援課

■重点目標3 みんなで安全・安心のまちをつくる

【重点目標の解説】

- ① 子どもと親が地域や家庭で安心して日常生活を送ることができるようにします。

【指標】

指標名	単位	2009年度 実績値	2010年度 実績値	2011年度 実績値	指標数値出典 (所管課)	備考
今住んでいる地域が、子どもが安全で健やかに育つ環境になっていると思う市民の割合	%	45.6	47.3	50.3	市民意識調査 (政策経営部企画政策課)	10段階評価の評価7以上の割合。評価10が最高得点。数値が大きいほど評価が高い。

◆Ⅲ-3-個別目標1 子どもの安全・安心を確保する

【個別目標の解説】

子どもが地域や家庭で事故や事件に遭う心配をすることなく日常の生活を送ることができるようにします。

【指標】

指標名	単位	2009年度 実績値	2010年度 実績値	2011年度 実績値	指標数値出典 (所管課)	備考
「子ども110番の家」の箇所数	箇所	5,942	6,011	6,067	子ども生活部 児童青少年課	—

子ども110番の家

子どもが危険に直面した際に緊急避難先として駆け込むことができる建物であることを示す看板の設置を各小学校PTAや自治会・町内会とともに進めました。

担当:子ども生活部児童青少年課

中学生体験型交通安全講習

プロのスタントマンが実際にあった交通事故を目の前で再現する体験型の交通安全講習です。事故の状況を直視することで恐怖を体験し、加害者・被害者の気持ちを考える取り組みとして、町田警察署・南大沢警察署との共催により中学生を対象に開催しました。

担当:建設部交通安全課

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

部名	事業名	事業の概要	対象	実施場所	所管課・係
政策経営部	庁舎内見学	小学校の社会科見学の一環として、本庁舎内を案内しました。町田市のこと市役所の業務についての質問にも答えました。	小学生	町田市役所	広聴課
市民部	CAPプログラムを体験しよう!	子どもの権利と危険な場面から身を守る方法を学ぶ講座。子どもワークショップと、大人が子どもを支援するための方法を学ぶ大人ワークショップを実施しました。	小学1年生～小学3年生とその保護者	市民フォーラム視聴覚室 第2学習室	市民協働推進課男女平等推進センター

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

部名	事業名	事業の概要	対象	実施場所	所管課・係
建設部	自転車運転教室	各小学校・団体等からの申し込みを受け、町田警察署、南大沢警察署とともに、自転車運転教室を開催しました。講話・実技講習・筆記試験を受けた3年以上の子供達に「町田市自転車運転免許証」を交付しました。	小学生とその保護者	・小学校 他	交通安全課
	新入学児童交通安全啓発活動	小学1年生を対象に交通安全に関する啓発用品を配布し、通学時等の交通事故防止を呼びかけました。	小学生	—	
学校教育部	セーフティ教室	小学校、中学校において、児童・生徒の健全育成の活性化および充実を図るとともに、保護者・市民の参加のもとに、家庭・学校・地域社会の連携による非行・犯罪被害防止教育を推進しました。	小学校、中学校 全児童・生徒および保護者・地域の住民	・小学校 ・中学校	指導課
	児童の通学に関する危険箇所の改善要望	小学校および小学校のPTAからの要望に基づき、町田市の関係部署や警察署が個別に危険箇所を回り、注意看板の設置や道路の補修等を行い、地域における児童の安全を促進しました。	町田市立小学校に通う児童の保護者	各小学校通学路	学務課

◆Ⅲ-3-個別目標2 子育てしやすいまちづくりをする

【個別目標の解説】

- ① 乳幼児を連れた親がまちの中を容易に移動できるようにします。
- ② 乳幼児を連れた親が外出中に外出先で子どもの世話を容易にできるようにします。
- ③ 乳幼児を持つ親が必要なときに子どもを預けて外出することができるようにします。

【指標】

指標名	単位	2009年度 実績値	2010年度 実績値	2011年度 実績値	指標数値出典 (所管課)	備考
緊急な用事などの時に子どもを一時的に預けることができたと答えた保護者の割合	%	48.3	54.9	—	市民意識調査 (政策経営部企画政策課)	10段階評価の評価7以上の割合。評価10が最高得点。数値が大きいほど評価が高い。

みんなのおでかけマップ

町田市の補助を受けてNPO法人が運営しているホームページ「町田市バリアフリーマップ」の情報のうち「みんなのトイレ」が整備された施設を基本に外出支援情報を掲載した冊子です。「みんなのトイレ」の他に授乳室、車いす対応駐車場等についても記載しています。また、公共施設の多い町田駅周辺については、地図上に施設等の位置とバリアフリー情報を表示しています。

【用語解説：みんなのトイレ】

車いす使用者をはじめ、障がい者・高齢者・乳幼児を連れた方等のみんなが利用できる大きさ・機能・設備等のあるトイレです（施設により介助が必要な場合があります）。

町田市バリアフリーマップ <http://www.barrierfree-machida.com/>

担当：地域福祉部福祉総務課

5. 特定 12 事業における実績と目標事業量

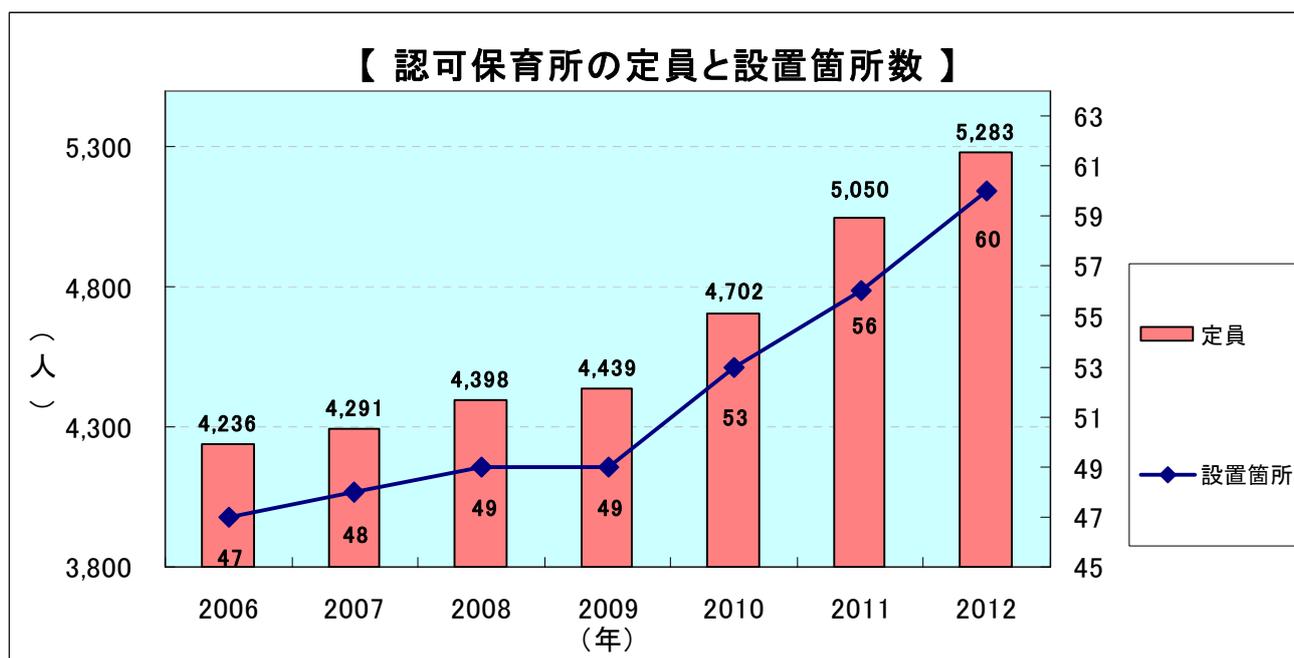
1. 通常保育事業

通常保育事業とは、認可保育所（国が定めた設置基準をクリアし、都道府県に認可された施設）および家庭的保育者（区市町村が認定した家庭的保育者の自宅で保育する制度）、認証保育所（東京都独自の基準で設置した施設）、保育室（東京都が定めた小規模な認可外保育施設）、認定こども園（幼稚園等が教育と保育の両方の機能を提供する施設）を合わせた保育サービスのことで

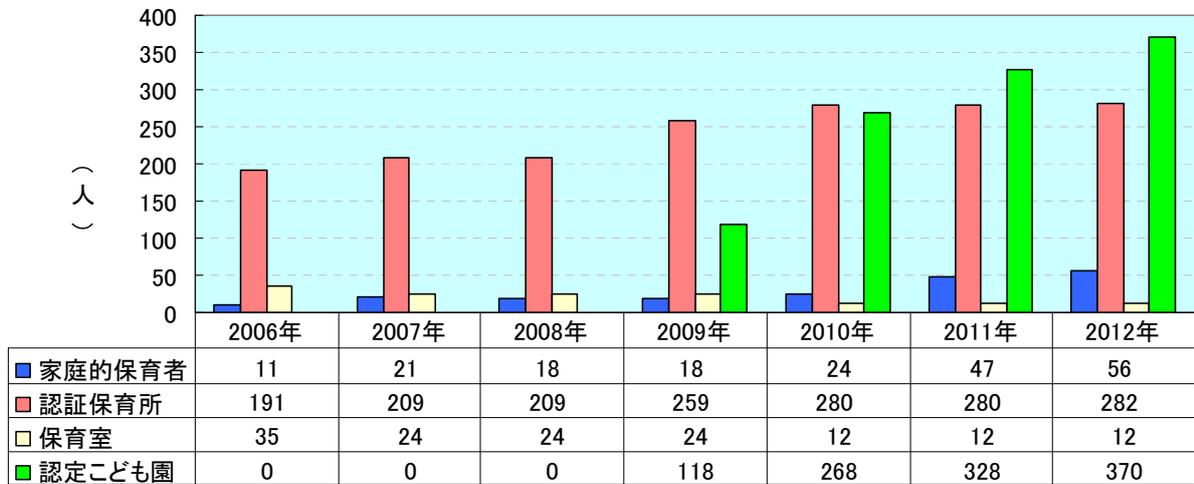
(1) 実績（各年 4 月 1 日現在）

年 度	認可保育所		家庭的保育者		認証保育所		保育室		*認定こども園	
	定員	箇所数	定員	箇所数	定員	箇所数	定員	箇所数	定員	箇所数
2006	4,236	47	11	3	191	7	35	3		
2007	4,291	48	21	5	209	7	24	2		
2008	4,398	49	18	4	209	7	24	2	0	0
2009	4,439	49	18	4	259	7	24	2	118 (28)	1
2010	4,702	53	24	6	280	7	12	1	268 (28)	5
2011	5,050	56	47	11	280	7	12	1	328 (28)	7
2012	5,283	60	56	12	282	7	12	1	370 (40)	7

* 認定こども園の（28）、（40）の数字は認可外保育部分の定員となっています。



【 家庭的保育者・認証保育所・保育室・認定こども園定員実績 】



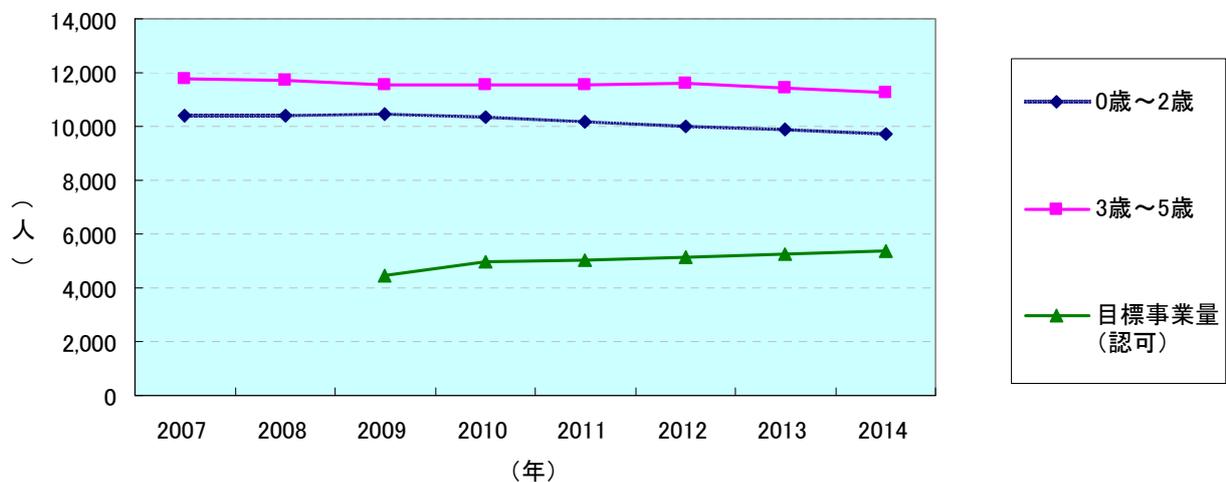
(2) 目標事業量

利用実績等を参考に、以下のとおり目標事業量を設定しました。

	認可保育所		家庭的保育者		認証保育所		保育室	
	人数	箇所数	人数	箇所数	人数	箇所数	人数	箇所数
2012年 4月1日 現在の定員	5,283人	60箇所	56人	12箇所	282人	7箇所	12人	1箇所
2014年度 目標事業量	5,578人	60箇所	92人	20箇所	269人	7箇所		

* 保育室は 2013 年度より、家庭的保育者に事業を移行します。

【 推計人口と認可保育所の目標事業量 】

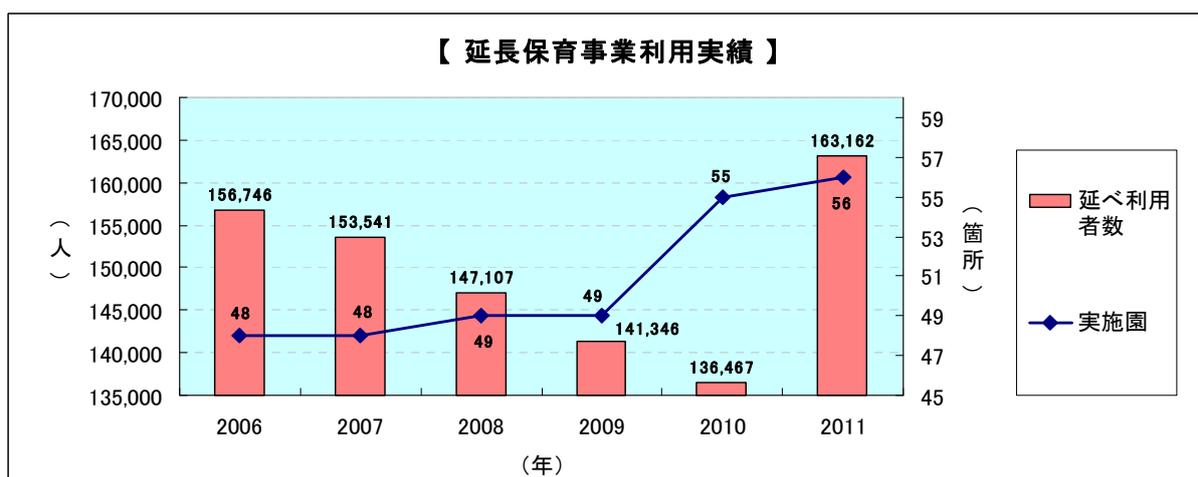


2. 延長保育事業

延長保育事業とは、基本となる 11 時間（概ね 7 時から 18 時）保育の前後の時間を延長して行う保育のことです。町田市では、56 箇所（2012 年 3 月末現在）の認可保育所で延長保育事業（18 時以降の保育）を行っています。

（1）実績

年度	年間のべ利用人数	実施園
2006	156,746 人	48 園
2007	153,541 人	48 園
2008	147,107 人	49 園
2009	141,346 人	49 園
2010	136,467 人	55 園
2011	163,162 人	56 園



延長保育時間	2012年4月1日 現在の実施園 (60 園)
1 時間延長 (19 時まで) 実施園	31 園
2 時間延長 (20 時まで) 実施園	27 園
3 時間延長 (21 時まで) 実施園	1 園
4 時間延長 (22 時まで) 実施園	1 園

（2）延長・夜間・トワイライトステイ事業の推計ニーズ量（アンケートによる希望数値）

	18 時～20 時未満	20 時～22 時未満	22 時～翌朝 5 時
2014 年度推計ニーズ量	6,128 人	1,427 人	171 人

<説明>

延長保育事業・夜間保育事業・トワイライトステイ事業の推計ニーズ量は、18 時以降を 3 つの時間帯（18 時～20 時未満、20 時～22 時未満、22 時～翌朝 5 時まで）で区切り、国が示した項目により、利用希望を調査しました。希望数値の中には、現在このサービスを使っていない人と現在すでに利用し、時間延長を希望する人の数も含まれます。

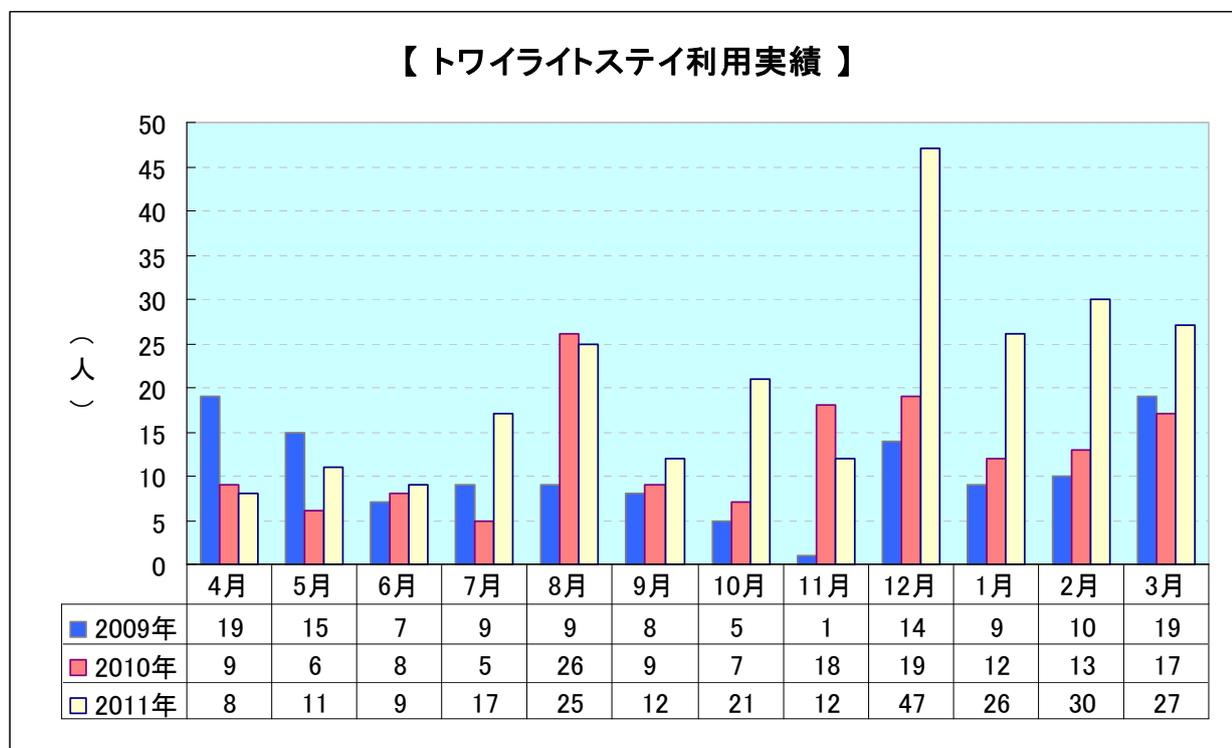
3. 夜間保育事業

夜間保育事業とは、児童福祉法に基づく設置認可を受けた保育所が 22 時頃までの保育を行うことです。町田市では現在、夜間保育事業は行っていませんが、市立町田保育園が 22 時までの延長保育を実施しています。

4. トワイライトステイ事業

トワイライトステイ事業は、保護者の方が仕事や家族の介護等で帰宅が夜間におよぶ際に、子どもを 22 時までお預かりする保育サービスです。町田市では、ショートステイの家「マルガリータ」で行っています。

(1) 実績



(2) 目標事業量

	定員	箇所数	2006年～2011年 利用実績
2012年4月1日 現在の定員	5人	1箇所	1日平均 0.4人 (月30日として計算)
2014年度目標事業量	5人	1箇所	

* 目標事業量は国の指定により、定員で算出することとなっています。
実績を考慮し、設定しています。

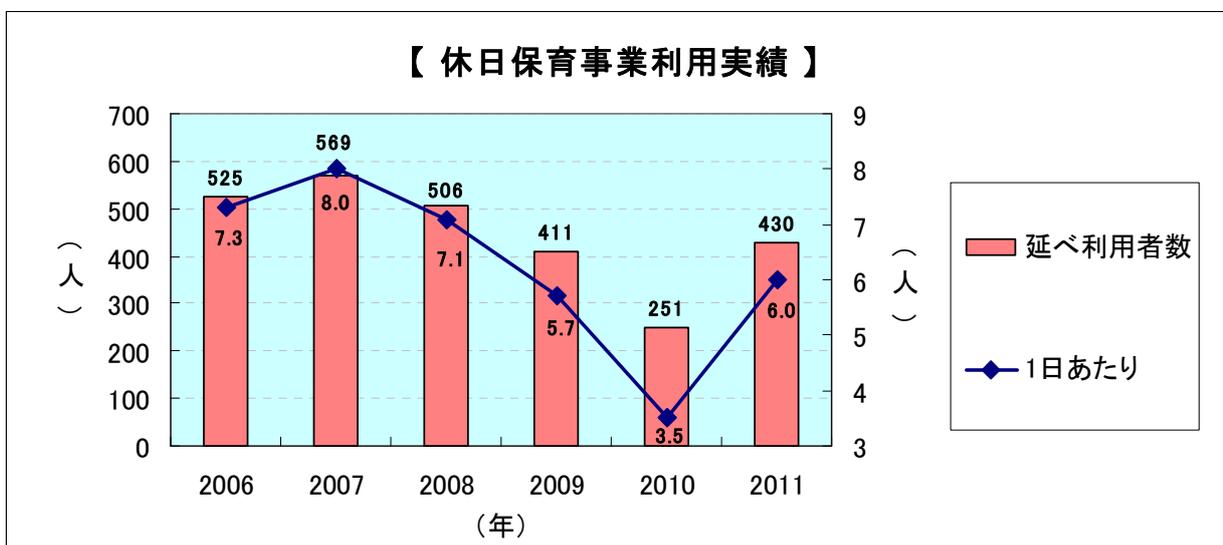
5. 休日保育事業

休日や祝日に仕事・看護・冠婚葬祭等の理由で家庭保育ができないときに、子どもをお預かりする保育サービスです（年末・年始は除きます）。町田市では、わかば保育園で行っています。

(1) 実績

年度	施設数	年間のべ 利用者数	休日1日 平均利用者数	1日あたり 利用可能人数
2006	1箇所	525人	7.3人	20人
2007	1箇所	569人	8.0人	20人
2008	1箇所	506人	7.1人	20人
2009	1箇所	411人	5.7人	20人
2010	1箇所	251人	3.5人	20人
2011	1箇所	430人	6.0人	20人

*年間の休日を71日として算出



(2) 目標事業量

	定員	箇所数	2006年～2011年 利用実績
2012年4月1日 現在の定員	20人	1箇所	
2014年度目標事業量	20人	1箇所	

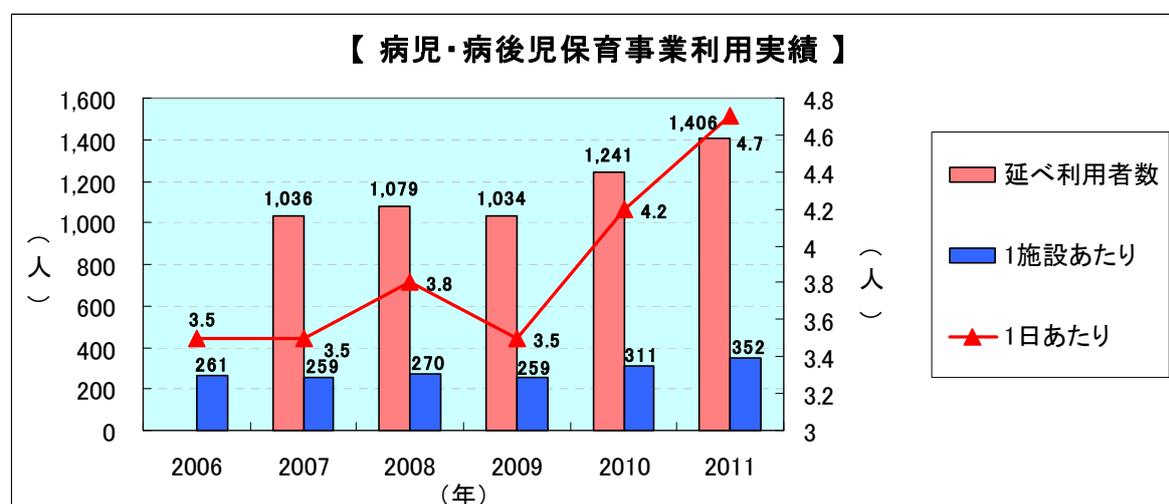
* 目標事業量は実績を考慮し、設定しています。

6. 病児・病後児保育事業

病児・病後児保育事業とは、病中または病気の回復期の子どもを、保育所・医療機関等に付随して設けられた専用スペース等でお預かりする保育サービスです。町田市では、病児保育は「はやしくクリニック病児保育室」で、病後児保育は「小野路保育園第一分園病後児保育室つくし組」、「ききょう保育園病後児保育室ひまわり」、「高ヶ坂ふたば保育園病後児保育室こすもす」の病児保育1箇所、病後児保育3箇所の計4箇所で行っています。

(1) 実績

年度	施設数	年間のべ利用者数	1日平均利用者数	利用可能人数
2006	4箇所	1,042人	3.5人	16人
2007	4箇所	1,036人	3.5人	16人
2008	4箇所	1,079人	3.8人	16人
2009	4箇所	1,034人	3.5人	16人
2010	4箇所	1,241人	4.2人	16人
2011	4箇所	1,406人	4.7人	16人



(2) 目標事業量

	利用可能日数	箇所数
2012 年度利用可能日数	4,720 日	4 箇所
2014 年度目標事業量	4,704 日	4 箇所

*目標事業量は、国の指定により日数で算出しています。利用可能日数 4,704 日は、年間開所日数 294 日×定員 4 名×施設数 4 箇所で、年間の受け入れ可能な合計日数を算出しています。

7. 放課後児童健全育成事業（学童保育クラブ）

放課後児童健全育成事業（学童クラブ）とは、保護者が就労等により、昼間家庭にいないおおむね 10 歳未満の小学生を対象に、授業終了後、組織的に指導を行い、子どもの事故防止と心身の健全な育成を図る事業です。

(1) 実績



各年 4 月 1 日現在

学童保育クラブの登録児童数は年々増加の傾向にあります。町田市では、1 小学校区に 1 学童保育クラブを設置するという目標は達成しました。今後は遠距離学童保育クラブや大規模学童保育クラブのあり方など、実状に即して検討していきます。

(2) 目標事業量

	定員（児童数）	箇所数
2012 年 4 月 1 日 現在の受入定数	3,170 人	43 箇所
2014 年度目標事業量	3,665 人	43 箇所

8. 地域子育て支援拠点事業（子育てひろば）

地域子育て支援拠点事業とは、地域において、親子の交流の促進や子育てに関する相談、情報の提供等を行う子育て支援の拠点を設置・促進する事業です。町田市では、公立保育所（地域子育てセンター）7園、法人立保育所23園、つどいのひろば2箇所（草笛保育園のカンガルーポッケ・ききょう保育園のあじさい広場）で実施しています。

（1）実績

年度	法人立保育所	公立保育所 （地域子育てセンター）	つどいのひろば	合計
2006	13 園	7 園	1 箇所	21 箇所
2007	12 園	7 園	2 箇所	21 箇所
2008	15 園	7 園	2 箇所	24 箇所
2009	18 園	7 園	2 箇所	27 箇所
2010	22 園	7 園	2 箇所	31 箇所
2011	23 園	7 園	2 箇所	32 箇所

（2）目標事業量

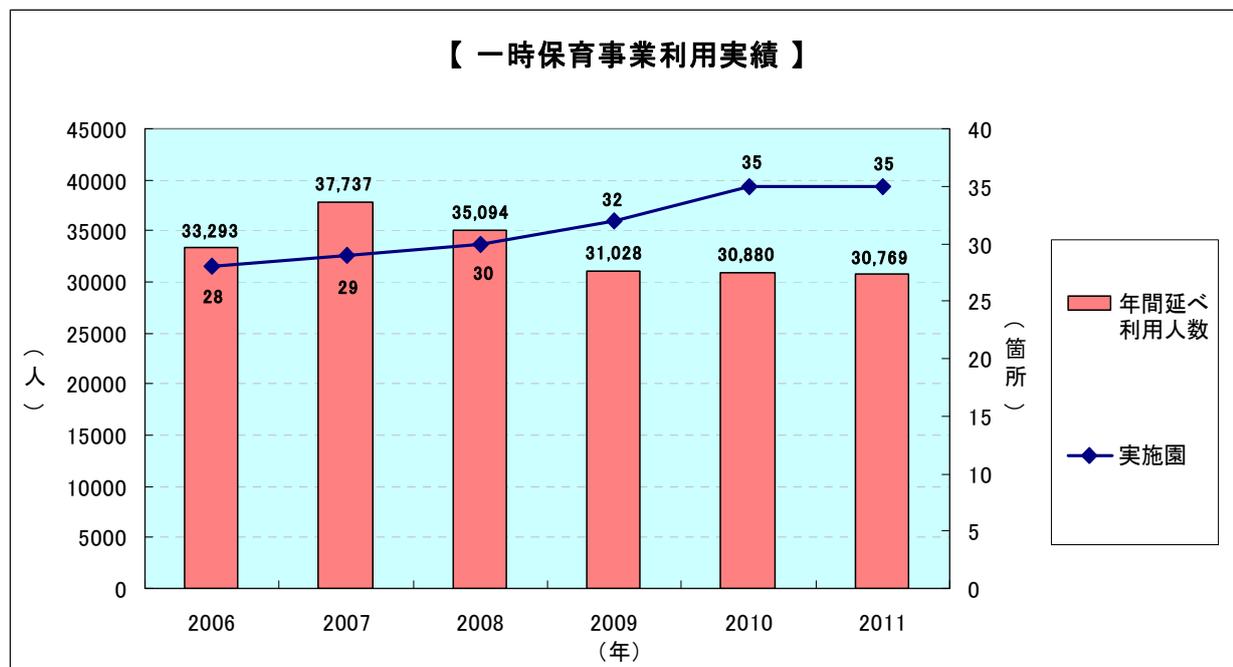
	箇所数
2012年4月1日 現在実施箇所	33 箇所
2014年度目標事業量	33 箇所

*目標事業量は実績を考慮し、設定しています。

9. 一時預かり事業

一時預かり事業とは、日中、家庭での保育が一時的に困難になった場合、保育所等で一時的に子どもをお預かりする事業です。町田市では、35 箇所（2012 年 3 月末現在）の保育所で一時預かり事業を行っています。

(1) 実績



(2) 目標事業量

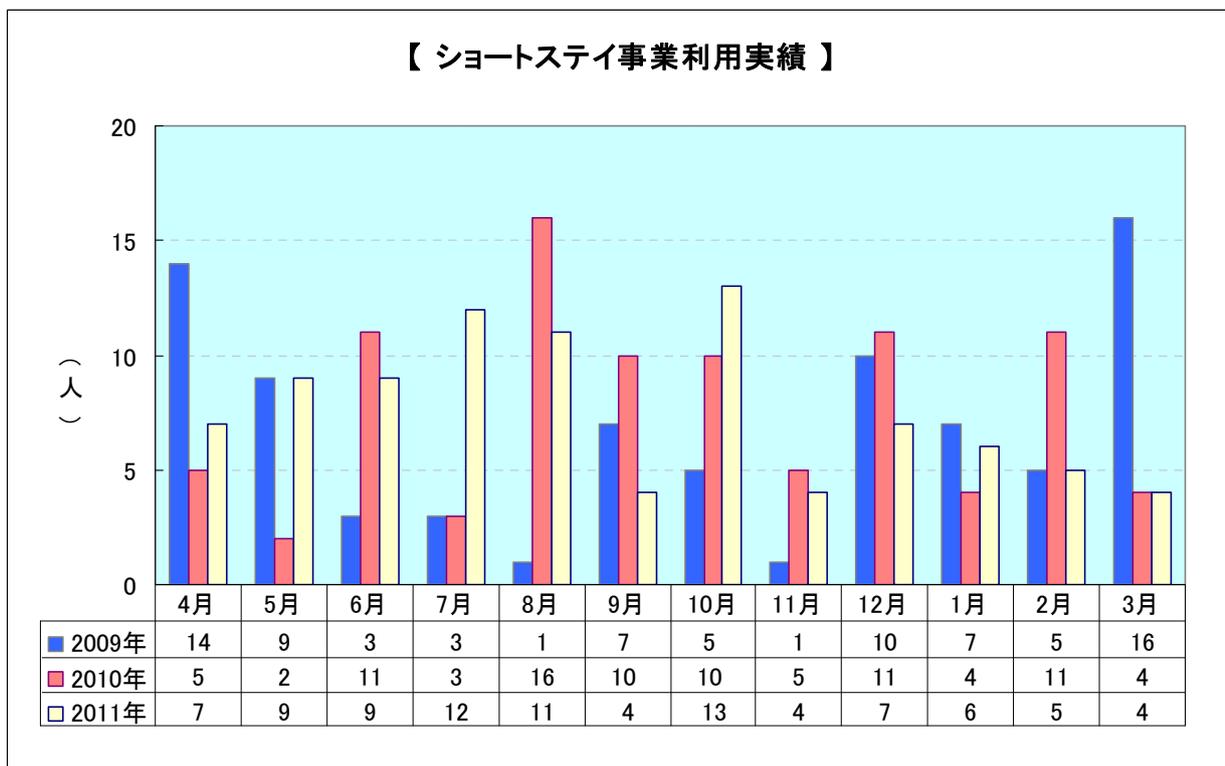
	受け入れ可能日数	箇所数
2012 年 4 月 1 日現在	85,260 日	36 箇所
2014 年度目標事業量	57,330 日	39 箇所

* 目標事業量は実績を考慮し、設定しています。

10. ショートステイ事業

ショートステイ事業とは、保護者の方が病気・冠婚葬祭・事故・出産等で一時的に子どもを保育できない時に、宿泊でお預かりする事業です。町田市では、ショートステイの家「マルガリータ」で行っています。

(1) 実績



(2) 目標事業量

	日数	箇所数	2006年～2011年 利用日数 平均 280 日
2012年4月1日現在	438 日	1 箇所	
2014年度目標事業量	438 日	1 箇所	

* 目標事業量は実績を考慮し、設定しています。

<説明>

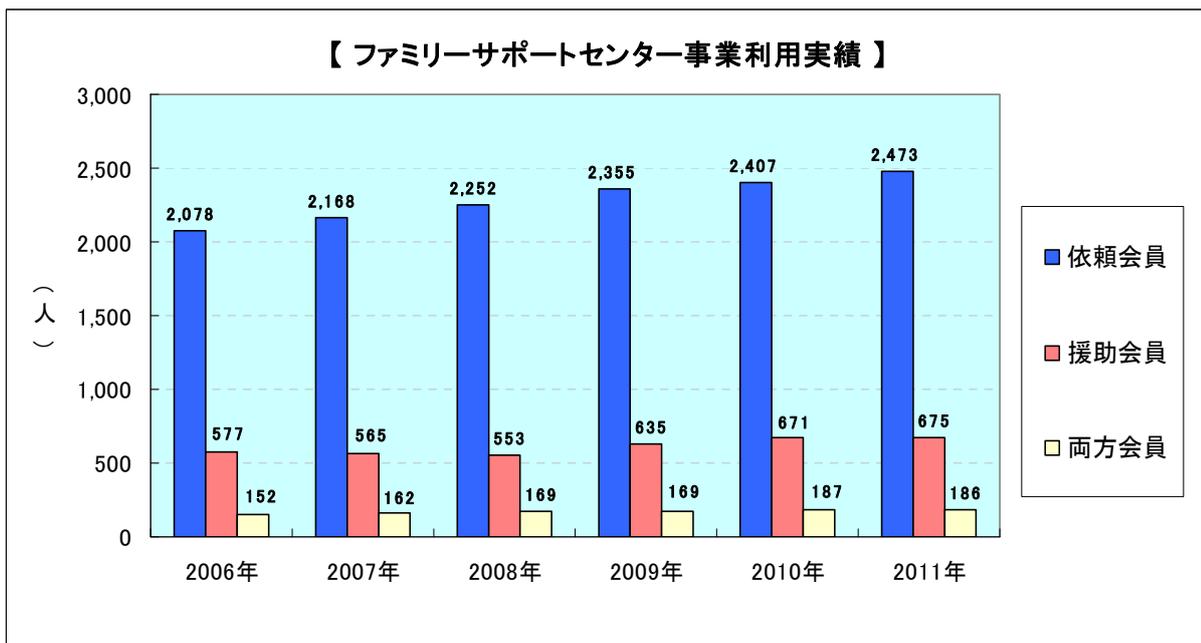
ショートステイの目標事業量は、子ども家庭支援センターが行う、所定の算出方式により得た利用率で算出しています。1泊2日の利用を2日と計算しますので、年間365日より多い数値になります。

11. ファミリー・サポート・センター事業

ファミリー・サポート・センター事業とは、「育児の援助を行う人（提供会員）」と「育児の援助を受ける人（依頼会員）」が会員となり、保育所終了後の時間や外出の際などに、提供会員の自宅で子どもを預かる、有償のボランティア事業です。

(1) 実績

年度	依頼会員	援助会員	両方会員	利用件数
2006	2,078 人	577 人	152 人	15,693 件
2007	2,168 人	565 人	162 人	15,056 件
2008	2,252 人	553 人	169 人	16,452 件
2009	2,355 人	635 人	169 人	14,281 件
2010	2,407 人	671 人	187 人	14,790 件
2011	2,473 人	675 人	186 人	12,543 件



(2) 目標事業量

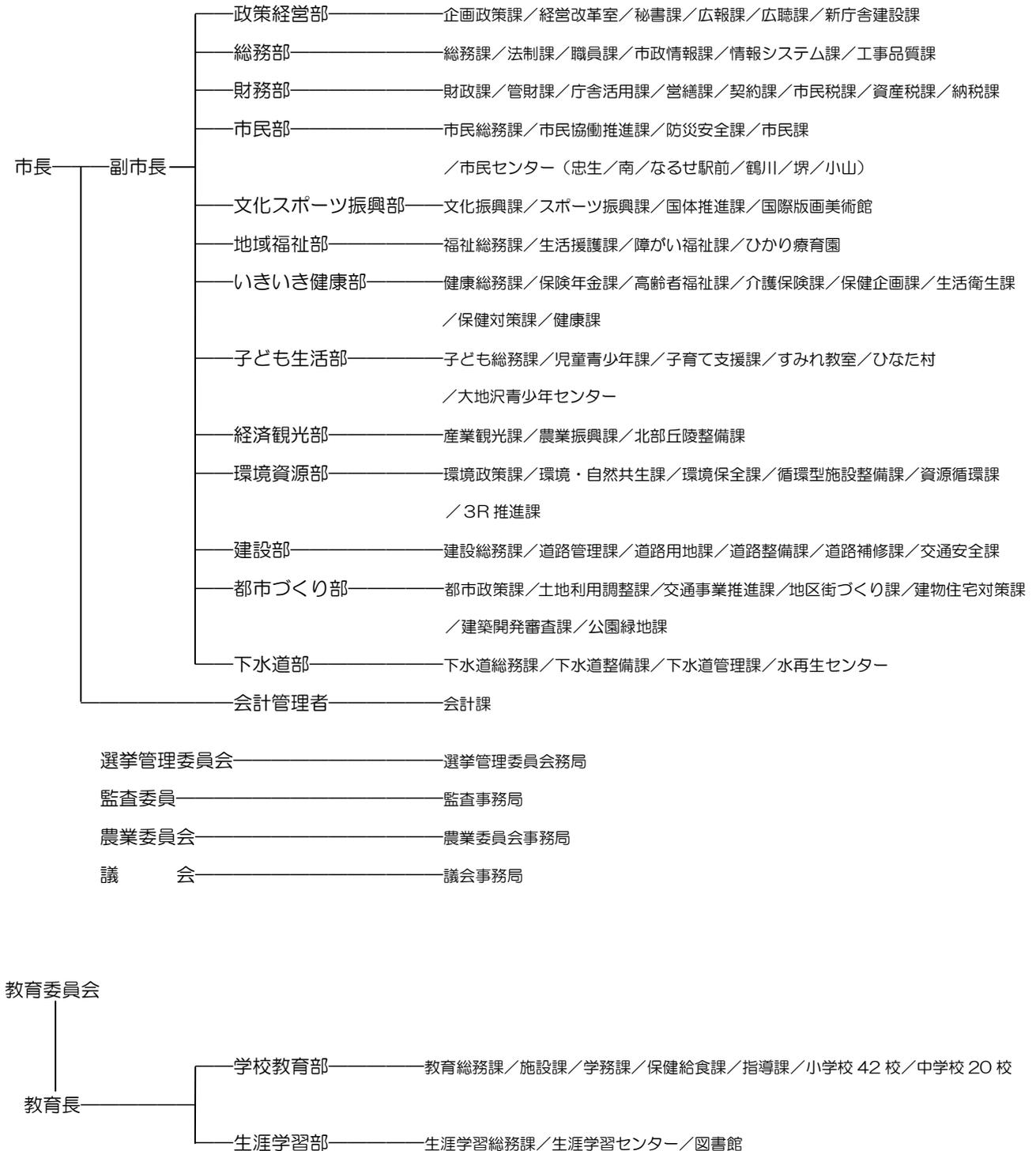
	箇所
2012年4月1日現在	1 箇所
2014年度目標事業量	1 箇所

ファミリー・サポート・センターの依頼会員や援助会員は年々増加の傾向にあります。今後は事業実績の推移を見ながら検討していきます。

※目標事業量は実績を考慮し、設定しています。

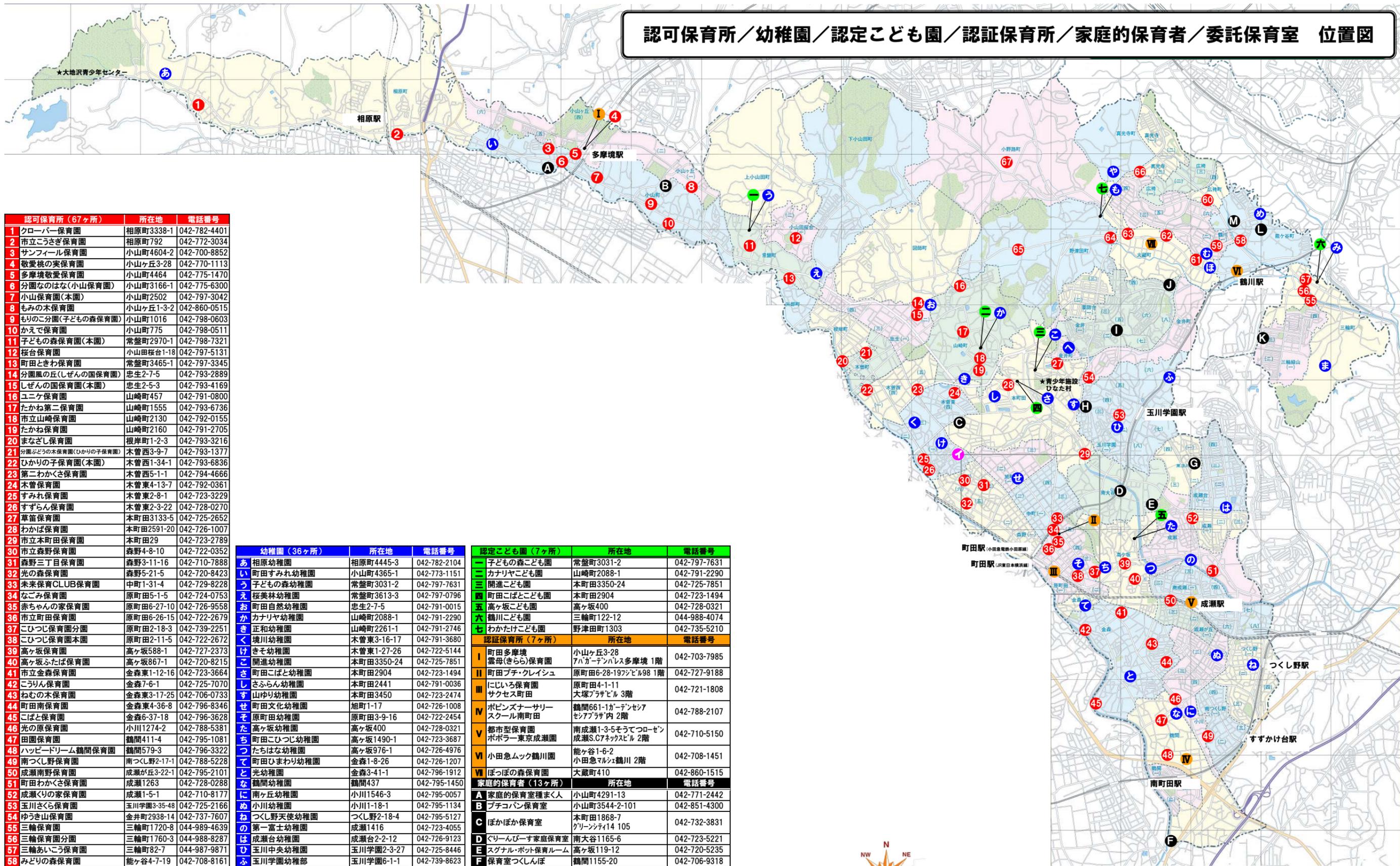
6. 町田市の組織

(2012年4月1日現在)



町田市民病院

認可保育所／幼稚園／認定こども園／認証保育所／家庭的保育者／委託保育室 位置図



認可保育所 (67ヶ所)	所在地	電話番号
1 クローバー保育園	相原町3338-1	042-782-4401
2 市立こうさぎ保育園	相原町792	042-772-3034
3 サンフィール保育園	小山町4604-2	042-700-8852
4 敬愛桃の実保育園	小山ヶ丘3-28	042-770-1113
5 多摩境敬愛保育園	小山町4464	042-775-1470
6 分園なのはな(小山保育園)	小山町3166-1	042-775-6300
7 小山保育園(本園)	小山町2502	042-797-3042
8 もみの木保育園	小山ヶ丘1-3-2	042-860-0515
9 もりのこ分園(子どもの森保育園)	小山町1016	042-798-0603
10 かえで保育園	小山町775	042-798-0511
11 子どもの森保育園(本園)	常盤町2970-1	042-798-7321
12 桜台保育園	小山町桜台1-18	042-797-5131
13 町田ときわ保育園	常盤町3465-1	042-797-3345
14 分園風の丘(しげんの国保育園)	忠生2-7-5	042-793-2889
15 しげんの国保育園(本園)	忠生2-5-3	042-793-4169
16 ユニケ保育園	山崎町457	042-791-0800
17 たかね第二保育園	山崎町1555	042-793-6736
18 市立山崎保育園	山崎町2130	042-792-0155
19 たかね保育園	山崎町2160	042-791-2705
20 まなざし保育園	根岸町1-2-3	042-793-3216
21 分園ぶどうの木保育園(ひかりの子保育園)	木曾西3-9-7	042-793-1377
22 ひかりの子保育園(本園)	木曾西1-34-1	042-793-6836
23 第二わかさ保育園	木曾西5-1-1	042-794-4666
24 木曾保育園	木曾東4-13-7	042-792-0361
25 すみれ保育園	木曾東2-8-1	042-723-3229
26 すずらん保育園	木曾東2-3-22	042-728-0270
27 草笛保育園	本町田3133-5	042-725-2652
28 わかば保育園	本町田2591-20	042-726-1007
29 市立本町田保育園	本町田29	042-723-2789
30 市立森野保育園	森野4-8-10	042-722-0352
31 森野三丁目保育園	森野3-11-16	042-710-7888
32 光の森保育園	森野5-21-5	042-720-8423
33 未来保育CLUB保育園	中町1-31-4	042-729-8228
34 なごみ保育園	原町田5-1-5	042-724-0753
35 赤ちやんの家保育園	原町田6-27-10	042-726-9558
36 市立町田保育園	原町田6-26-15	042-722-2679
37 こひつじ保育園分園	原町田2-18-3	042-739-2251
38 こひつじ保育園本園	原町田2-11-5	042-722-2672
39 高ヶ坂保育園	高ヶ坂588-1	042-727-2373
40 高ヶ坂ふたば保育園	高ヶ坂867-1	042-720-8215
41 市立金森保育園	金森東1-12-16	042-723-3664
42 こうりん保育園	金森7-6-1	042-725-7070
43 ねむの木保育園	金森東3-17-25	042-706-0733
44 町田南保育園	金森東4-36-8	042-796-8346
45 こぼと保育園	金森6-37-18	042-796-3628
46 光の原保育園	小川1274-2	042-788-5381
47 田園保育園	鶴間411-4	042-795-1081
48 ハッピードリーム鶴間保育園	鶴間579-3	042-796-3322
49 南つくし野保育園	南つくし野2-17-1	042-788-5228
50 成瀬南野保育園	成瀬が丘3-22-1	042-795-2101
51 町田わかさ保育園	成瀬1263	042-728-0288
52 成瀬くりの家保育園	成瀬1-5-1	042-710-8177
53 玉川さくら保育園	玉川学園3-35-48	042-725-2166
54 伊予き山保育園	金井町2938-14	042-737-7607
55 三輪保育園	三輪町1720-8	044-989-4639
56 三輪保育園分園	三輪町1760-3	044-988-8287
57 三輪あいこ保育園	三輪町82-7	044-987-9871
58 みどりの森保育園	能ヶ谷4-7-19	042-708-8161
59 ききょう保育園	鶴川1-16-7	042-735-2242
60 東平ひまわり保育園	広神町543-1	042-736-2266
61 つるかわ保育園	大蔵町2177-2	042-735-5562
62 市立大蔵保育園	大蔵町1984	042-735-3600
63 井の花保育園	大蔵町530-1	042-708-9541
64 小野路保育園第一分園	野津田町1084-1	042-708-0231
65 おひさま共同保育園	野津田町498-1	042-736-6648
66 花の木保育園	真光寺3-1-6	042-734-6113
67 小野路保育園	小野路町1416	042-735-2314

幼稚園 (36ヶ所)	所在地	電話番号
あ 相原幼稚園	相原町4445-3	042-782-2104
い 町田すみれ幼稚園	小山町4365-1	042-773-1151
う 子どもの森幼稚園	常盤町3031-2	042-797-7631
え 桜美林幼稚園	常盤町3613-3	042-797-0796
お 町田自然幼稚園	忠生2-7-5	042-791-0015
か カナリヤ幼稚園	山崎町2088-1	042-791-2290
き 正和幼稚園	山崎町2261-1	042-791-2746
く 境川幼稚園	木曾東3-16-17	042-791-3680
け そ幼稚園	木曾東1-27-26	042-722-5144
こ 開進幼稚園	本町田3350-24	042-725-7851
こ 開進幼稚園	町田こぼと幼稚園	042-723-1494
さ さくらん幼稚園	本町田2441	042-791-0036
す 山ゆり幼稚園	本町田3450	042-723-2474
せ 町田文化幼稚園	旭町1-17	042-726-1008
そ 原町田幼稚園	原町田3-9-16	042-722-2454
た 高ヶ坂幼稚園	高ヶ坂400	042-728-0321
ち 町田こひつじ幼稚園	高ヶ坂1490-1	042-723-3687
つ たちはな幼稚園	高ヶ坂976-1	042-726-4976
て 町田ひまわり幼稚園	金森1-8-26	042-726-1207
と 光幼稚園	金森3-41-1	042-796-1912
な 鶴間幼稚園	鶴間437	042-795-1450
に 南ヶ丘幼稚園	小川11546-3	042-795-0057
ぬ 小川幼稚園	小川1-18-1	042-795-1134
ね つくし野天使幼稚園	つくし野2-18-4	042-795-5127
の 第一富士幼稚園	成瀬1416	042-723-4055
は 成瀬台幼稚園	成瀬台2-2-12	042-726-9123
ひ 玉川中央幼稚園	玉川学園2-3-27	042-725-8446
ふ 玉川学園幼稚園部	玉川学園6-1-1	042-739-8623
へ 藤の台幼稚園	金井町3040-2	042-725-5472
ほ 鶴川シオン幼稚園	大蔵町2216	042-735-3136
ま 夢の森幼稚園	三輪町1051-2	044-988-7811
み 鶴川幼稚園 鶴川女子短期大学附属	三輪町122-12	044-988-4074
む 慶松幼稚園	鶴川1-5-2	042-735-3252
め 鶴川平和台幼稚園	能ヶ谷6-41-1	042-735-4918
も 鶴川若竹幼稚園	野津田町1303	042-735-5210
や 和光鶴川幼稚園	真光寺町1271-1	042-735-2291

認定こども園 (7ヶ所)	所在地	電話番号
一 子どもの森こども園	常盤町3031-2	042-797-7631
二 カナリヤこども園	山崎町2088-1	042-791-2290
三 開進こども園	本町田3350-24	042-725-7851
四 町田こぼとこども園	本町田2904	042-723-1494
五 高ヶ坂こども園	高ヶ坂400	042-728-0321
六 鶴川こども園	三輪町122-12	044-988-4074
七 わかたけこども園	野津田町1303	042-735-5210

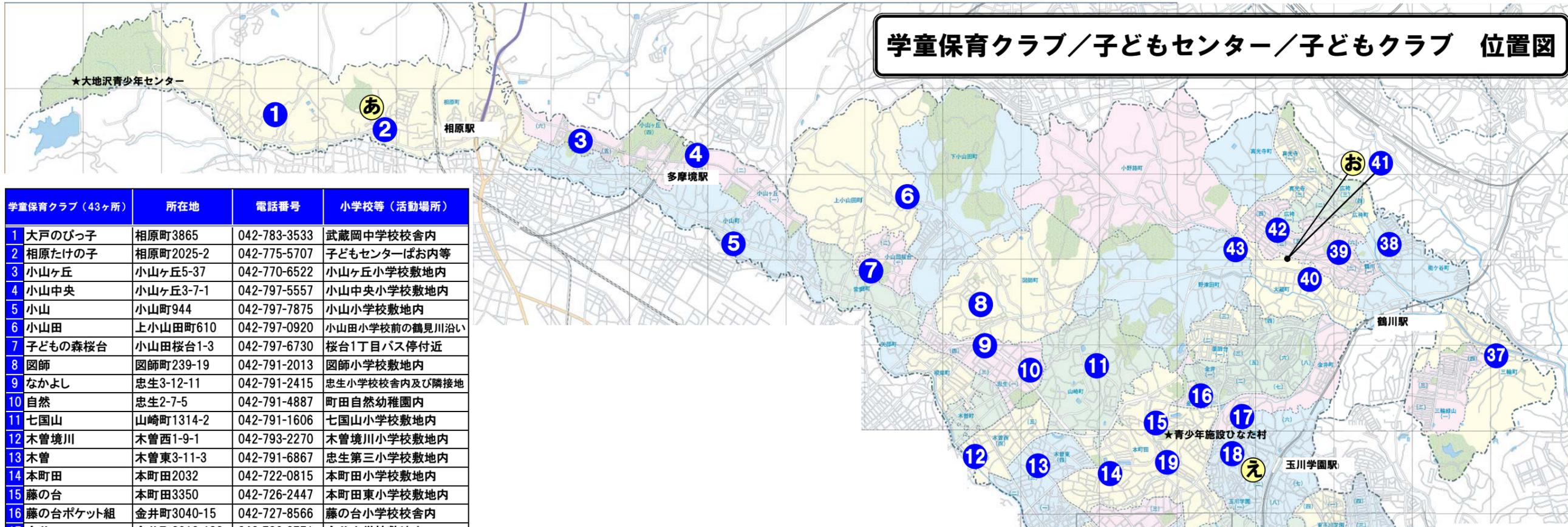
認証保育所 (7ヶ所)	所在地	電話番号
I 町田多摩境 雲母(きらら)保育園	小山ヶ丘3-28 7F ガーデンハルス多摩境 1階	042-703-7985
II 町田プチ・クレイシュ	原町田6-28-19F ビル98 1階	042-727-9188
III にじいろ保育園 サクセス町田	原町田4-1-11 大塚プラザビル 3階	042-721-1808
IV ポピンズナーサリー スクール南町田	鶴間661-1 ガーデンセブ センアラザ内 2階	042-788-2107
V 都市型保育園 ボボラー東京成瀬園	南成瀬1-3-5 そうてつローゼン 成瀬S.C7ネクスビル 2階	042-710-5150
VI 小田急ムック鶴川園	能ヶ谷1-6-2 小田急マルシ鶴川 2階	042-708-1451
VII ほっぺの森保育園	大蔵町410	042-860-1515

家庭的保育者 (13ヶ所)	所在地	電話番号
A 家庭的保育室種まく人	小山町4291-13	042-771-2442
B プチコパン保育室	小山町3544-2-101	042-851-4300
C ぽかぽか保育室	本町田1868-7 グリーンシティ14 105	042-732-3831
D ぐりんぴーす家庭保育室	南大谷1165-6	042-723-5221
E スグナル・ポット保育ルーム	高ヶ坂119-12	042-720-5235
F 保育室つくしんぼ	鶴間1155-20	042-706-9318
G ほっぺのなかま保育室	東玉川学園2-15-9	042-723-5090
H Aloha keiki家庭保育室	玉川学園4-23-14	042-729-7853
I たんぼぼ保育室	金井2-34-7	042-736-2498
J ひだまり保育室	金井4-19-37	042-737-4630
K ほほえみ家庭保育室	三輪緑山3-2106-25	044-712-7900
L にじの丘家庭保育室	能ヶ谷6-28-20	042-736-7699
M ななくさ家庭保育室	能ヶ谷7-23-31きのこの家102	042-738-7059

委託保育室 (1ヶ所)	所在地	電話番号
Y こざくら保育室	木曾東1-6-25	042-725-1378

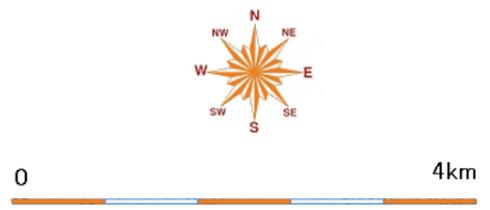
<平成24年10月8日 現在>
 ※金森地区住所整理事業に伴い、2012年10月8日より住居表示が変更となりました。

学童保育クラブ/子どもセンター/子どもクラブ 位置図



学童保育クラブ (43ヶ所)	所在地	電話番号	小学校等 (活動場所)
1 大戸のびっ子	相原町3865	042-783-3533	武蔵岡中学校校舎内
2 相原たけの子	相原町2025-2	042-775-5707	子どもセンターばお内等
3 小山ヶ丘	小山ヶ丘5-37	042-770-6522	小山ヶ丘小学校敷地内
4 小山中央	小山ヶ丘3-7-1	042-797-5557	小山中央小学校敷地内
5 小山	小山町944	042-797-7875	小山小学校敷地内
6 小山田	上小山田町610	042-797-0920	小山田小学校前の鶴見川沿い
7 子どもの森桜台	小山田桜台1-3	042-797-6730	桜台1丁目バス停付近
8 図師	図師町239-19	042-791-2013	図師小学校敷地内
9 なかよし	忠生3-12-11	042-791-2415	忠生小学校校舎内及び隣接地
10 自然	忠生2-7-5	042-791-4887	町田自然幼稚園内
11 七国山	山崎町1314-2	042-791-1606	七国山小学校敷地内
12 木曾境川	木曾西1-9-1	042-793-2270	木曾境川小学校敷地内
13 木曾	木曾東3-11-3	042-791-6867	忠生第三小学校敷地内
14 本町田	本町田2032	042-722-0815	本町田小学校敷地内
15 藤の台	本町田3350	042-726-2447	本町田東小学校敷地内
16 藤の台ポケット組	金井町3040-15	042-727-8566	藤の台小学校校舎内
17 金井	金井町2612-183	042-736-0771	金井小学校敷地内
18 ころころ	玉川学園3-35-45	042-710-1475	ころころ児童館館内
19 竹ん子	本町田1212	042-722-3267	町田第三小学校校舎内
20 森野	森野2-21-28	042-726-2448	町田第四小学校敷地内
21 中央	中町1-20-30	042-725-5231	町田第一小学校敷地内
22 学童21保育クラブ	原町田4-26-40	042-724-7784	町田第二小学校敷地内
23 高ヶ坂	南大谷1260	042-726-2449	町田第六小学校敷地内
24 南大谷	南大谷264	042-739-6791	南大谷子どもクラブ内等
25 高ヶ坂けやき	高ヶ坂729	042-720-0096	高ヶ坂小学校敷地内
26 金森	金森7-18-2	042-726-0290	第6都営金森2号棟1階
27 どんろん子	金森東3-22-24	042-799-0989	南第四小学校隣接地
28 わんぱく	小川3-10-1	042-795-5875	小川小学校校舎内
29 金森第二	金森3-45-1	042-795-4705	第10都営金森1号棟1階及び子どもセンターばあん
30 鶴間ひまわり	鶴間1083	042-706-4643	鶴間小学校敷地内
31 南つくし野	南つくし野2-17-2	042-795-0051	南つくし野保育園隣接地
32 つくし野	つくし野2-21-11	042-795-2187	つくし野小学校敷地内
33 そよかぜ	成瀬4797	042-727-8384	南第二小学校敷地内
34 なんなる	南成瀬3-6	042-726-1758	南成瀬小学校敷地内
35 成瀬中央あおぞら	成瀬2-8	042-726-7966	成瀬中央小学校校舎内
36 すまいる	成瀬台2-5-2	042-722-0633	成瀬台小学校校舎内
37 三輪子どもの学園	三輪町82-7	044-987-9871	三輪あいこ保育園2階
38 鶴川第二	能ヶ谷7-24-2	042-737-0080	鶴川第二小学校敷地内
39 鶴川	鶴川6-5	042-734-0429	鶴川第三小学校敷地内
40 大蔵	大蔵町286	042-734-3277	大蔵小学校敷地内
41 つるっこ	大蔵町1913	042-708-0245	子どもセンターつるっこ館内
42 鶴川第四	鶴川3-22	042-734-3845	鶴川第四小学校敷地内
43 野津田	野津田町1290	042-735-4568	鶴川第一小学校敷地内

子どもセンター 子どもクラブ (5ヶ所)	所在地	電話番号
あ 子どもセンターばお	相原町2025-2	042-775-5258
い 南大谷子どもクラブ	南大谷264 都営4号棟1階	042-739-6791
う 子どもセンターばあん	金森4-5-7	042-788-4181
え 玉川学園子どもクラブ ころころ児童館	玉川学園3-35-45	042-710-1475
お 子どもセンターつるっこ	大蔵町1913	042-708-0236



<平成24年度10月8日 現在>
 ※金森地区住所整理事業に伴い、2012年10月8日より住居表示が変更となりました。

本書に対するご意見等ございましたら、下記の子ども総務課までお寄せください。

まちだの子ども施策 2011（平成23）年度

発行年月	2012年12月
刊行物番号	12-75
発行	町田市
	〒194-8520 町田市森野2-2-22
	TEL 042-722-3111（代表）
編集	子ども生活部子ども総務課
	TEL 042-724-2876（直通）